安息日聖書教科

終わりの時代の管理職

Vol. 98 No.3
2022年7月-9月

目次

1. 管理者 5
2. 忠実な管理者 10
3. 悪い傾向に打ち勝つ (I) 15
4. 悪い傾向に打ち勝つ (II) 20
5. 仕事の祝福 25
6. 活動的で能力がある 31
7. 資産ピラミッドと枠組み 36
8. タラントを用いて増やす 41
9. 愛によって動機づけられる 46
10. 純粋な動機のみ! 52
11. 実務的な管理職 57
12. 信頼できる徳 62
13. 成し遂げられた使命! 67

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部(P.O.Box 7240 Roanoke,Virginia 24019-0240,U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.98,No.2

編集&発行:
SDA改革運動日本ミッション

〒368－0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ケ久保1607－1

TEL : (0494) 22-0465

URL :
http//www.4angels.jp

E-mail:
sdarm.shomaru@gmail.com

イラスト:Adobe Stock on the front cover and 30, 72; Mapquest on pp. 4, 51, 72.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔　〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

Printed in Japan

まえがき

わたしたちはなぜ、自分自身のやり方で物事を行うことができないのでしょうか。もちろん、できますが、そのような方法は必ずしも、わたしたちの永遠の救いを促進するものではありません。堕落した人間の方法は、神の方法ではありません。「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。」（イザヤ 55:8, 9）

ですから、わたしたちは有限な地上の生き方が、神の完全な是認を享受すると期待することができません。結局、わたしたちは自分自身を所有してさえいないのです！聖書は、わたしたちが値―神のひとり子の血潮―をもって買われたことを明らかにしています。

他の人々へのわたしたちの愛でさえ、あるべきものになっていないかもしれません。すべての人はある家族に与えられた霊感の警告から益を受けることができます。

「わたしたちの愛はしばしば利己的である。なぜなら、わたしたちはそれを規定された制限内に閉じ込めるからである。わたしたちがキリストとの緊密な一致と交わりに入る時、わたしたちの愛と同情と慈善の働きは、働くに従い、より深く届き、より広く、強くなっていく。キリストに従う者たちの愛と関心は、世界のように広くなければならない。「わたしとわたしの者」のためだけに生きる人々は、天を失う。神はあなたに、家族として愛を培い、自分自身に関しては今より敏感でなくなるように、そして他の人々の悲しみや試練にはもっと敏感になるようにと求めておられる。あなたが生涯を通じていだいてきたこの利己的な精神は不幸な人の横を通り過ぎた祭司やレビ人によって正確に表されている。彼らは助けが必要なことを認めたが、故意に彼を避けたのである。

あなたがた各自、利己心という轍（わだち）から抜けだすために目覚めて、正面から向き合う必要がある。あなたに与えられた短い恩恵期間を、あなたの過去の人生の失敗をつぐなうために力を尽くして働くことによって生かしなさい。神はあなたを試すために、つまり、あなたが永遠の命という賜物にふさわしいことが見いだされるを調べるために、苦難の世に置かれたのである。」（教会への証 3 巻 530）

今日、人類の苦しんでいる人、無知な人、不運の実例を救済するためには、わたしたちすべての人に、無我が要求されています。わたしたちは自分自身のものではありません。わたしたちは、わたしたちの創造主の独占的な財産であり、このお方はわたしたちにイエス・キリストのご生涯のうちに模範を与えてくださいました。天の品性の資質を正しく現わすためには、わたしたちの全存在が要求されています。わたしたちは神の恵みの管理者であり、与えられた光、資金、タラントの管理者です。

ですから、わたしたちの主人の御足の跡へと奨励するため、次の二期の安息日聖書教科は、「終わりの時代の管理者」に基づいています。これらの研究を通して、神がわたしたちにキリストの無我の歩みにおける成功を与えてくださるようにというのが、わたしたちの祈りです。

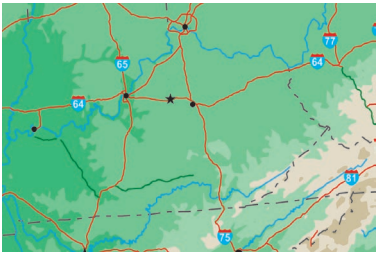
世界総会安息日学校支部

安息日 2022 年 7 月 2 日

第一安息日献金

アメリカ合衆国ケンタッキー州ウィンチェスターのために

「あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。また、あかりをつけて、それを枡の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照させるのである」とわたしたちは言われています（マタイ 5:14, 15）。



ケンタッキー州（人口 450 万人以上）はアメリカ合衆国の南東にある州で、おそらくケンタッキー「ブルーグラス」、サラブレッドの馬のために特別に栄養のある特殊な種類の草—この州の主要な財源で知られていることでしょう。

ケンタッキー州の半分以上の人々は自分たちを「非常に宗教的」だと考えており、最も多くキリスト教を告白しています。25%以上はバプテスト信仰であり、8.4%がカトリック、1.8%がペンテコステ派、1.1%が長老教会、そして残りがそれ以外のキリスト教、もしくはキリスト教以外の信仰者です。そうであれば、この州で真の生ける神のために記念塔を持つことはどれほど重要なことでしょう！

改革のメッセージがケンタッキー州に伝えられたのは、1990 年代でした。そして主は驚くような方法で、この当初の数年に扉を開いてくださいました。奇跡的な低価格で、古い家のついた 2 エーカーの地所を購入し、この家が教会となりました。その地所に隣接した隣人がその後一部を購入し、さらに建物にあった宗教的な装飾品が一組オークションにかけられ、教会の費用はちょうど相殺されました。そして教会員が引っ越して出て行った時、地所は売却されて利益が出ました。別の奇跡により、主はまもなく、首都に大きく美しい教会をわたしたちが無償で使えるように備えてくださいました。

しかし、時が過ぎ、わたしたちの教会員の場所はすでにレキシントンの町へ移りました。そこで、集められたすべての資金は今この地域に集中しています。この国の土地と建物は非常に高価なため、神はまた別の奇跡を働いてくださいました。ウィンチェスターの町の近郊に教会がセールに出たのです。ケンタッキー州にいるわたしたちの教会員は、数は少ないですが、それを得ようと必死になっています。彼らはこの事業に自分たちのできる限りをつぎ込んでおり、ここで永遠の福音が地域に提示されつつあります。そして新しい訪問者が安息日の礼拝に毎週出席しています。わたしたちはケンタッキー州にあるこの灯台を見て励まされています。そしてそれができるだけ早く借金を返済し、主の御名が尊ばれることを見たいと熱烈に願っています。皆さんの惜しみない献金に大いに感謝します！

ケンタッキー教会、ウィンチェスターから皆さんの兄弟姉妹より

管理者

暗唱聖句：「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」（箴言 3:5, 6）

「人が慈善の祝福された結果を失うことがないように、わたしたちの贖い主は人をご自分の共労者として彼を協力させる計画を立てられた。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1874 年 8 月 25 日）

推奨文献：　ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 486–489

日曜日　*6 月 26 日*

1.　任務

a.　クリスチャン管理職の基礎は何ですか (詩篇 37:4–6; 24:1)。

「神のみ言葉が心のうちに永続的な原則として抱かれるとき、そして、あらゆるそして一つ一つの環境下で堅く守られるとき、人はそのゆだねられた能力とともに、主イエス・キリストの支配下に置かれる。彼の分割されていない力、そして彼の思想でさえ、キリストのとりことなる。これが真の聖化である。経験のあらゆる部分が完全な調和のうちに混ぜ合わされる。彼には『なんら欠けたところがない』。彼は、ただ自分がしたいようにするために一部を自分自身にとっておいたりはしないのである。」（天国で 190）

b.　クリスチャンの管理職の第一の動機と主として求める資産を説明しなさい (マタイ 6:33, 34; ピリピ 3:8)。

「わたしたちはキリストの証人である。神が、第一義的なものとしてあげておられるものに注意を向けられないほど、時間と注意を世的な利害に集中させてはならない。もっと高い利害が危険にひんしている。『まず神の国と神の義とを求めなさい』(マタイ 6:33）。キリストは、ご自分がなすためにおいでになった働きに全部をお与えになった。私たちに対するキリストのみことばはこうである。『だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。』『そして、わたしの弟子となる』（ マルコ 8:34、ヨハネ 15:8）。」（青年への使命 313, 314）

2. 管理職

a. 管理者は他の人の財産を管理します。わたしたちが管理者となるべき重要なものをいくつかあげなさい (コリント第一 4:1, 2)。

「神がご自分の真理を委ねてこられた人々は、キリストが表されたのと同じ慈悲深い精神を持っていなければならない。彼らは同じ広い行動計画を採用しなければならない。彼らは貧しい人々に親切で惜しみない精神を持ち、特別な意味において、自分たちが神の管理者であると感じるべきである。彼らは自分たちの持っているもの―財産、知力、霊的な力―を自分自身のものとしてではなく、地上におけるキリストのみ事業の前進のために貸し与えられているものとして保持していなければならない。キリストと同様に、自分たちの同胞仲間の交わりを避けるべきではない。かえって他の人々に自分たちが神から受けた天来の恩恵を与えるという目的をもって、それを求めるべきである。」(福音宣伝者 335)

b. クリスチャンの管理者はどこに富を蓄えますか (マタイ 6:19–21, 24, 33)。

「神は、わたしたちが、地上のものよりは、天のものを選ぶことを望んでおられる。また、天にたくわえることができることをもお示しになった。神は、わたしたちの最高の目標に励ましのことばをかけ、わたしたちの尊い宝を安全に守ってくださるのである。『わたしは人を精金よりも、オフルのこがねよりも少なくする』と主は言われる (イザヤ書 13:12)。虫がくい、さびがつく富が一掃されるとき、キリストのしもべたちは、彼らが天に積んだ宝と朽ちない富とを楽しむことができるのである。」(キリストの実物教訓 351)

c. クリスチャンの管理者は主人から預けられた富を、どのように扱いますか (第一テモテ 6:18, 19; 箴言 19:17)。

「すべての者は、自分が所有者なのではなく、管理者であり、主の金銭をどのように用いたか会計報告を出さなければならない時が来ることを感じるべきである。資金は神のみ事業で必要とされる。ダビデと共に、彼らは次のように言うべきである、『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』(歴代志上 29:14)。」(教会への証 5 巻 382)

3.　　確かな態度

a.　クリスチャンの管理者は、経済的な悪化に直面する際、何を考慮すべきですか (ピリピ 4:13; ローマ 8:28)。

b.　なぜわたしたちの金銭的な問題への取り組みが非常に重要なのでしょうか (箴言 16:2)。

c.　わたしたちの態度や動機に関して、クリスチャンの管理者には、どのような警告が及んでいますか (ヨハネ第一 2:15, 16)。

「サタンは、神に選ばれた人々の心を、ちょうど未来の場面のための厳粛な準備の働きから引き離すために、常に誘惑を提示している。彼はあらゆる意味において言葉どおり欺瞞者であり、巧妙な魔術師である。彼は自分の計画やわなを天から借りた光の覆いで覆ってしまうのである。彼はエバに禁じられた実を食べることによって大いに向上すると信じ込ませることによって誘惑した。サタンは自分の代理人たちを導いてさまざまな発明や特許権や他の事業を持ち込ませている。こうして富を築くのに性急な、安息日遵守者であるアドベンチストが、誘惑に陥り、わなにかけられ、多くの悲しみで自らを刺し通すようになるためである。彼は目を覚ましていて、世をとりこにするために忙しく従事し、世俗の代理者を通して、真理を信じると公言する軽率な者を引き寄せて世俗と結合するように、絶えず楽しませるような興奮を掻き立てている。目の欲、興奮と楽しい娯楽への願望は、神の民にとって誘惑であり、わなである。サタンは、一見無邪気に見えるが、神の民を夢中にさせるために巧妙に用意した、数多くの見事に織られた危険な網をもっている。楽しませるショーや娯楽、骨相学の講義、また数え切れないほどさまざまな企画が絶えず生じ、神の民に世と世にあるものを愛させようと仕組まれている。世とのこの結合を通して、信仰は弱まり、現代の真理のみ事業に投資されるべき資金が、敵の陣営に移されている。これらのさまざまな媒体を通して、サタンは神の民の財布から巧妙に流出させ、このために主のご不興が彼らの上にあるのである。」(教会への証 1 巻 550, 551)

4.　　信任

a.　真のクリスチャンの管理者を囲んでいるものは、何ですか (詩篇 32:10)。

b.　主の忠実な管理者には、どのような特質が表されていますか (箴言 3:5, 6; ヨブ 23:12)。

「詩篇記者は『主に信頼して善を行え。そうすればあなたはこの国に住んで、安きを得る』（詩篇 37:3）と申しました。『主に信頼して』であります。私どもは一日として重荷や心配、苦労のない日はありませんから、すぐそうした困難や試練を他人に話したくなります。いろいろの取越し苦労をしたり、恐れや心配を口に出したりするので、あたかも、すべての祈りを聞き、必要な時にはいつも助けたもうあわれみと愛にみちた救い主がおいでにならないかのように人に思わせます。」（キリストへの道 169, 170）

c.　クリスチャンの管理者に教えを与えることができる自然からの教訓をいくつか述べなさい (マタイ 6:25–30)。

「自然の事物の一つ一つが、このように、宇宙の生命に奉仕するとき、それはまた自分自身の生命を確保する。『与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう』（ルカ 6:38）という言葉は、聖書のページにしるされているのと同じように明らかに自然界にもしるされた教訓である。」（教育 109, 110）

「野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。草木が冷たい暗い土から、あるいは川底の泥の中から芽生え育って、どうして美しく花を咲かせ、かおりを漂わせるのか考えてみるがよいとイエスは仰せになる。だれが、ゆりのあの褐色のごつごつした球根の中に、美の可能性を想像することができるだろうか。しかし、その中に隠れている神の生命が、その呼びかけに従い、雨と日光を受けて開くとき、人々はその優雅で美しい姿に驚くのである。それと同じく、神の恵みの働きかけに従うすべての者の心の中に、神の生命が芽ばえるのである。この神の恵みはちょうど雨や日光のように、すべての人に豊かな祝福をもたらすものである。草花を創造したのは神のことばであるが、その同じことばがあなたのうちに、聖霊の実を生み出すのである。

神の律法は愛の律法である。神はあなたを美で囲み、あなたを地にお置きになったのは、あなたがただ自己にのみ没頭するためではなく、キリストの愛によって生活を輝かしく美しいものとするためであることを教えようとされたのである。それは、花のように、愛の奉仕によって人々に喜びを与えることである。」（祝福の山 119, 120）

木曜日 *6月30日*

5.　　感謝

a.　クリスチャンの管理者は宇宙の最も真実な富を発見した時に、何をしますか (ルカ 15:8, 9; テサロニケ第一 5:18)。

「わたしたち自身の困難や問題を忘れて、神の御名の栄光のために生きる機会を神に感謝しようではないか。新しい一日一日の新鮮な祝福のゆえに、わたしたちの心のうちに、これらのこのお方の愛の保護のしるしのゆえに賛美が呼び覚まされるようにしよう。朝、目覚めるときに、夜の間守ってくださった神に感謝しなさい。あなたの心のうちにある平安を神に感謝しなさい。朝に、昼に、夜に、芳しい香のように感謝が天に上るようにしなさい。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1910 年 6 月 2 日)

「わたしたちは神の恵みについて語り、このお方の力を話す理由がないだろうか。友人がわたしたちに親切なとき、わたしたちは彼らの親切に対して感謝すること を特権だと思う。それならばわたしたちにあらゆる良い物、完全な賜物を与えて下さっている友なるお方に感謝を捧げることを、どれほどさらに喜びだと考えるべきであろうか。だからどの教会でも、神への感謝の念を養おう。家族の輪の中で、神を賛美するよう、わたしたちの唇を教育しよう。」(今日のわたしの生涯 170)

b.　クリスチャンの管理者は何のために最大の感謝を捧げますか (詩篇 119:14, 72, 127)。

「イスラエルの前途にあった輝かしい将来は、神の戒めに従うことによってはじめて実現されうるものであった。同じように品性が向上し、同じ祝福にあふれて、―精神と魂と身体の祝福、家と畑の祝福、現世と来世の祝福に満ちあふれること―は、従順によってのみわたしたちに可能となるのである。」(キリストの実物教訓 285)

金曜日 *7月1日*

個人的な復習問題

1.　どのように福音のみ事業のための献身を表すことができますか。
2.　クリスチャンの管理者の働きの内容は何でしょうか。
3.　あなたの態度は資金的な意思決定に、どのような影響を与えますか。
4.　神にあなたの財政を完全に支配していただくために何が必要でしょうか。
5.　自分の祝福を数えるとき、あなたは何を発見しますか。

忠実な管理者

暗唱聖句：「主はわたしの受くべき分です。わたしはあなたのみ言葉を守ることを約束します。」（詩篇 119:57）

「わたしたちの持っているすべてのもの、わたしたちの知的また身体的能力、現在と将来の生活のすべての祝福は、カルバリーの十字架を印されて、わたしたちに届けられたのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1886 年 12 月 14 日）

推奨文献：　家庭の教育 146–166;
教育 149–151

日曜日　*7月3日*

1.　満足感

a.　クリスチャンの管理者は彼らの地上の所有物すべてについて何を認めていますか (ヨブ 1:21)。

「万物は神に属している。人はこのお方のご要求を無視するかもしれない。このお方がご自分の祝福を彼らに惜しみなく与える一方で、彼らはこのお方の賜物を自分自身の利己的な満足のために用いるかもしれない。しかし、彼らは自分たちの管理職について会計報告を出すように召されることになる。

管理者は自らの利益を自分の主人と同一視する。彼は管理者としての責任を受け入れ、自分の主人に代わって、もし自分の主人が采配を振るっているならばとるはずの行動をとらなければならない。自分の主人の関心が自分の関心となる。管理者の地位は、尊厳ある地位である。なぜなら、彼の主人が彼を信頼しているからである。もしどのような方法であれ、彼が利己的に行動し、主の財産をもって取引することにより得た利益を自分自身の利益にするならば、彼は自分におかれた信頼を悪用したのである。」（教会への証 9 巻 246）

b.　なぜクリスチャンの管理者は、たとえ少なくても、彼らの地上の所有物に満足すべきなのでしょうか (詩篇 37:16; 箴言 15:16; テモテ第一 6:8)。

「わたしたちはあらゆる諸世界の創造主であられるイエスを、そしてどのように貧しい人としてこの世に来られたかを考える。このお方にはご自分の頭を横たえる場所がなかった。であるから、貧困は恥辱ではない。罪が恥辱なのである。」（ｴﾚﾝ・G・ﾎﾜｲﾄ 1888 原稿 1514）

2. 公正

a. わたしたちはクリスチャンの管理者であるので、隣人とその所有物に対するわたしたちの態度は、どうあるべきでしょうか (申命記 16:19)。

「キリストに従う者と闇の勢力との間の最後の大いなる論点において、サタンは男女にわいろを提供する。ある人々は無価値なもののために自分自身を売り渡す。もし彼が全世界を手にいれても自分の魂を損したら何の得になろうか。」(原稿ﾘﾘｰｽ 19 巻 243)

「他人の事柄には特別な関心を示さねばならない。この関心は彼らのものをむやみに欲しがったりあら探しをしたり、間違った光で彼らを批判したり、推薦したりするのではなくわたしたちの兄弟やわたしたちに関わりのあるすべての人に対し、すべてのことに厳密な正義を行うということである。」(彼を知るために 176)

b. 神はわたしたちに不公平の悪について何を悟るようにと願っておられますか (申命記 24:17; ローマ 2:11)。

「神は国籍、人種、または階級などの差別をお認めにならない。彼はすべての人類の創造主であられるのである。すべての人々は、創造によって一つの家族である。そしてすべての人々は、贖罪によって一つなのである。すべての魂が自由に神に近づくことができるように、キリストはすべての差別の壁を取り除き、神殿のすべての部屋を広く開けるために来られた。彼の愛は広く深く十分に満ちあふれていて、どんなところにでも浸透していくのである。それは、サタンの影響を受けてその欺瞞に惑わされた人々を引き上げて、約束の虹に囲まれている神のみ座近くに彼らを置くのである。キリストにあってはユダヤ人もなければギリシア人もなく、奴隷も自由人もないのである。」(国と指導者上巻 337, 338)

「すべての分派、不和、争いの理由は、キリストからの分離の中に見出される。キリストは、すべての人が引き付けられるべき中心点である。なぜならば、中心点に近づけば近づくほど、イエスのご品性とみ姿に成長し、感情、同情、愛において、お互いがより近づいて来るからである。神にかかわることによって、人間にかかわることがなくなる。……

無限の神のみ子、命と栄光の主は、最も低い階級の人生を送るために、屈辱の中に下って来られた。それは、誰もが主の臨在の前から排除されたと感じることがないためであった。主はご自身をすべての人に近寄りやすい方にされた。主は、ある好ましい人だけを選んで交わり、他の人を無視なさるということがなかった。」(彼を知るために 99)

3.　　正直

a.　全ての商取引において誠実に従うすべての者に、どのような祝福が与えられていますか (箴言 10:9)。

b.　クリスチャンの管理者の行動、言葉、考えでさえ、何と結びついているべきですか (箴言 12:5, 17; 14:2)。

「管理者としての任務によって、われわれは、神に対してのみならず、人に対して義務を負わされている。」(教育 153)

c.　主は商売において不正直な人々を、どのようにお考えになりますか (箴言 16:11; 20:10)。

「公正と不公正、正直と不正直を決めるのは、大きさでも重要に見えるかどうかでもない。正直さからほんのわずか外れることによって、わたしたちは敵の陣地に自らの身をおき、一歩一歩、どこまでも不正の道を進んでいくようになる。クリスチャン世界の大部分は、自分たちの仕事から宗教を切り離してしまった。」(教会への証 4 巻 337)

「キリストのはかりに従って正直な人は、確固とした高潔さを表わす人である。多くの人が世における自分たちの利益を増そうとして用いる欺きの分銅（ふんどう）や偽りの秤は、神の御目に忌むべきものである。しかし、神の戒めを守ると公言する多くの人々は、偽りの分銅や偽りの秤をもって取引をする。人が本当に神とつながり、実際にこのお方の律法を守るとき、彼の生活はその事実を表わすようになる。なぜなら、彼のすべての行動は、キリストの教えと調和しているからである。彼は利益のために自分の誉れを売ることをしない。彼の原則は確かな礎の上に築かれており、世俗の事柄における彼のふるまいは、その原則の写しである。堅固な正直さは、世のかすとごみの中で金のように輝き出る。欺き、偽り、そして不忠実は、めっきされて、人々の目からは隠されるかもしれないが、神の御目から隠されることはない。品性の発達を見守り、道徳的な価値を量る神の御使は、天の書物に品性を表すこれらの小さな取引を記録している。もし働き人が、生活の日ごとの仕事において不忠実で、自分の仕事を軽んじるならば、世はその人の仕事における標準に従って、宗教におけるその人の標準を評価することを、誤って判断することはない。」(同上 310, 311)

4. 謙遜

a. 謙遜なクリスチャン管理者の報いは何ですか (詩篇 37:11; 箴言 22:4; マタイ 18:4)。

「神への最高の愛と、互いの無私の愛、これこそ天父が与えることのおできになる最高の賜物である。すべての信徒は神に近づき、また互いに近づこうではないか。こうして神が彼らに近づくことがおできになるためである。だれも最高のものとして高められるべきではない。だれも自分が神に啓発され、魂を真理に導くために神に用いられたからと言って、自分が無謬だと思うべきではない。わたしたちの才能は、真理を大いなるものとするために神から委ねられたタラントとして用いられるときにのみ、価値がある。神が働いてくださる魂は、決して自らを高めたり、支配しようとすべきではない。賢明な管理者として、彼は自分の働きを誠実に、謙遜になすのである。彼は自分の受けたものを与えることによって、愛のうちにはっきりと確固とした方法で真理を語ることによって、神に奉仕すべきである。こうして彼はいつも神だけが思いに印象づけ、心を清めることがおできになることを覚えて、他の人々を啓発すべきである。」(原稿ﾘﾘｰｽ 21 巻 275)

b. 神の選民の中にいることを求めるすべての人を特徴づけものは何ですか (箴言 29:23)。

「愛、同情、そして優しさが、わたしたちの間で表わされるべきである。神の選民として憐れみと親切を着なさい。改心前に犯していた罪は古き人と共に脱ぎ捨てられなければならない。新しい人と共に、キリスト・イエス、すなわち『慈愛、謙そん、柔和、寛容』を身につけなければならない (コロサイ 3:12)。

命の新しさのうちに歩むために、キリストと共によみがえった人々は、神の選民である。彼らは主に聖なるものであり、主に愛されるものとして、このお方に認められている。このような人々は、思いのへりくだりを示すことによって、自らを区別するという厳粛な契約の下にいる。彼らは義の衣のうちに自らを覆うべきである。彼らは世から、すなわち世の精神と習慣から分離する。そして、彼らは『わたしは柔和で心のへりくだった者である』(マタイ 11:29) と言われるお方から学んだことを表わすべきである。もし、彼らがキリストと共に死んだことを自覚するのであれば、もし彼らが自分たちのバプテスマの誓いを守るならば、世には彼らをわきへ引き寄せ、キリストを否定させる力はない。もし彼らがこの世においてキリストの生涯を送るなら、神性にあずかる者である。そのとき、わたしたちの命であるキリストは現れ、彼らもまた栄光のうちにこのお方と共に現れるのである。」(同上 19 巻 236, 237)

木曜日 *7月7日*

5.　　従順

a.　啓示者ヨハネがこの終わりの日の神の民を見たとき、どのような特徴が示されましたか (黙示録 14:12)。

b.　正当な商売の原則に関する指示を、わたしたちはどこで見出すことができますか (申命記 5:32; 25:13–15; ルカ 11:28)。

「聖書には、正当な実業についてたいせつな準備の与えられていない部門はない。勤勉、正直、倹約、節制、潔白という原則は、真の成功の秘訣である。箴言の書に示されているこのような原則は、実際的な知恵の宝庫である 。商人も職人も、どんな実業部門の指導者たちも、自分自身のためにまた雇い人のために、箴言の書にある賢人の言葉ほど適切な格言を他のどこにも見いだすことはできない。〔箴言 22:29; 14:23; 13:4; 23:21; 20:19; 17:27; 20:3, 4:14; 6:28; 13:20; 18:24 引用〕. . .

聖書の中に幾度もくりかえし強調されている警告に注意するならば、どれほど多くの人々が経済上の失敗や破滅をまぬかれることであろう。…

世間一般の団体においても宗教団体においても、その社会の幸福は、これらの原則に結びついている。生命と財産を保証してくれるのもこれらの原則である。神のみ言葉の中に与えられ、また人の心の中にほとんど消えかかりながらも、なおおぼろげに残っている神の律法のおかげで、世の人々は信頼と協力を保ち得ているのである。」(教育 149–151)

金曜日 *7月8日*

個人的な復習問題

1.　どのようにあなたは自分のこの世の所有物に満足することができますか。
2.　金銭上の取引においてあなたはどのように他の人を取り扱うべきでしょうか。
3.　すべての取引において正直であるなら、あなたはどのような祝福を受けますか。
4.　わたしの生涯の中で、どのように謙遜は、実際的に表わされることができますか。
5.　金銭上の正直さに関して、益となることをいくつかあげなさい。

悪い傾向に打ち勝つ (I)

暗唱聖句 :「ねたみと党派心とのあるところには、混乱とあらゆる忌むべき行為とがある。」(ヤコブの手紙 3:16)

「われわれが認めようと認めまいと、われわれは、神から才能と便宜を与えられて、神から割り当てられた働きをなすべくこの世におかれている管理者である。」(教育 151, 152)

推奨文献 :　　教会への証 5 巻 242–248

日曜日　*7 月 10 日*

1.　　妬みと同質の罪

a.　誇り、妬み、そして地位に対する野心の源と、その苦い結果を説明しなさい (イザヤ 14:12–15)。

「神の統治に対する不満をルシファーにいだかせ、天の秩序をくつがえそうとさせたのは、誇りと野心であった。サタンは堕落以来、この同じねたみと不満、地位や名誉に対する野心を人間の心に植えつけようとしてきた。」(人類のあけぼの上巻 488)

b.　肉の思い、つまり第二の死の対象となる者について述べなさい (コリント第一 3:3; ローマ 8:6, 7; ヤコブ 3:14, 15)。

「もしあなたが自分の心をねたみと邪推に対して開くならば、聖霊はあなたと共に宿ることがおできにならない。」(教会への証 8 巻 191)

c.　嫉妬はあなたの性格や幸福にどのように影響しますか (ヨブ 5:2; 箴言 14:30; 27:4)。

「妬み深い人は、行くところどこへでも毒を撒き散らし、友を疎ませ、神と人に対する憎しみと反逆をかきたてる。彼は自分が最高で最大だと思われようとするが、自分自身で卓越した目的に到達するために、英雄的な自己否定の努力を払うことによってではなく、自分のいるところに立ちながら、他の人々の努力に帰する功績を小さくすることによって、求めるのである。」(同上 5 巻 56)

2. 心の内にある貪欲

a. むさぼりはどのような意味で神の戒めに違反していますか (出エジプト 20:17)。アカンの経験からこの罪についてわたしたちは何を学ぶことができますか (ヨシュア 7:20–26)。

「アカンを死に至らせた恐ろしい罪の根は貪欲であった。これは、すべての罪の中で最も一般的のもので、最も軽視されている。他の罪は、発見されて罰せられるのであるが、第十条の罪は、非難されることさえまれである。この罪がどんなに極悪で、その結果がどんなに恐ろしいものであるかという教訓をアカンの生涯が教えている。

貪欲は、徐々にひろがる悪である。アカンがいだいた貪欲心は、ついに習慣となり、断ち切れない鎖のように彼を束縛した。彼は、この悪を心にいだいて、それが、イスラエルに災いをもたらすことを考えて、恐怖心をいだいたことであろう。しかし、彼の感覚は、罪のために鈍くなった。そして、誘惑にあったとき、彼はもろくも負けてしまった。

同様に厳粛で明瞭な警告があるにもかかわらず、同じような罪がなお、行なわれていないであろうか。アカンがエリコのぶんどり物について禁じられていたのと同様に、われわれも貪欲心をいだくことを明らかに禁じられている。神は、それを偶像礼拝であるといわれた（コロサイ 3:5, エペソ 5:5 参照）。『あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない』（マタイ 6:24）。『あらゆる貪欲に対してよくよく警戒しなさい』（ルカ 12:5）。『あなたがたの間では、口にすることさえしてはならない』（エペソ 5:3）という警告が与えられている。アカン、ユダ、アナニヤ、サッピラなどの恐ろしい運命に陥った人々の例が与えられている。これらの人々の背後に、『黎明の子』ルシファーがいる（ イザヤ書 14:12)。彼は、さらに高い地位を求めたために天の栄光と祝福を永遠に失ってしまった。しかし、このような警告が発せられているにもかかわらず、貪欲は、いたるところで見られる。

どこにでも貪欲のみにくい足あとが見える。それは、家族の中に不満と争いを起こし、貧者の心に、金持ちに対するねたみと憎しみを起こす。それは、また、金持ちが貧者を、搾取、圧迫する原因でもある。この罪悪は世の中だけにとどまらず、教会の中にもはいっている。」（人類のあけぼの下巻 119, 120）

b. 貪欲の精神に支配されている人々とわたしたちの関係はどうあるべきでしょうか (エペソ 5:5; コリント第一 5:11)。

c. 貪欲な人々は、他にどのような罪人と共に、神の王国から締め出されますか (コリント第一 6:10)。

3. 強欲の悪

a. 嫉妬と貪欲が心に根付くとき、何が続くのでしょうか (ヨブ 5:2–5)。

「聖書には、キリストの再臨直前の世界の状態が描かれている。使徒ヤコブは貪欲と圧制とが世にはびこることをしるしている。『富んでいる人たちよ。よく聞きなさい。‥‥ あなたがたは、終りの時にいるのに、なお宝をたくわえている。見よ、あなたがたが労働者たちに畑の刈入れをさせながら、支払わずにいる賃銀が、叫んでいる。そして、刈入れをした人たちの叫び声が、すでに万軍の主の耳に達している。あなたがたは、地上でおごり暮し、快楽にふけり、『ほふらるる日』のために、おのが心を肥やしている。そして、義人を罪に定め、これを殺した。しかも彼はあなたがたに抵抗しない』(ヤコブ 5:1–6)。これが、今日の状態である。あらゆる圧迫と搾取とによって巨大な富の蓄積が行なわれる一方、飢えた人類の叫びが神の前に上っていくのである。」(キリストの実物教訓 151)

b. 強欲な持ち主が富を利己的に保持する場合、その結果は何ですか (伝道の書 5:13)。

「生来の貪欲で裕福な人は、これらの富を雇い人を虐げ、自分ができるときに個人を食い物にして、自分の地上での宝を加えてきたが、それは彼の肉をあたかも火のように食い尽くすのである。」(霊的賜物 2 巻 247)

c. 邪悪な人々はどのように彼らの心と思いの中にあるものを表しますか (詩篇 10:3)。

「人間はその盲目さのうちに、すばらしい進展と啓発を誇る。しかし、全能者の御目には、内なる罪と堕落があらわにされている。天来の見張り人たちは地上が暴力と犯罪に満たされていることを見る。あらゆる種類の強奪、しかも人間からだけでなく、神からの強奪によって、富を得ている。人は自分の利己心を満足させるために神の資金を用いている。彼らのつかむことのできるものは何でも、彼らの強欲に仕えるものとされている。貪欲と肉欲が蔓延している。人は最初の大欺瞞者の特質をいだいている。彼らは彼を神として受け入れ、彼の精神を吹き込まれるようになったのである。」(教会への証 6 巻 14, 15)

4.　　誇り

a.　誇りの概念はこの世では高く評価されています。聖書は誇りをどのように描写していますか (箴言 16:5)。

b. 主は誇り高い者に何をなさるでしょうか (箴言 15:25; 16:18, 19; ルカ 18:14.)。誇り高い者の結果に関して主の僕に示されたことと、これをどのように避けることができるかを述べなさい。

「神は傲慢を憎み、すべての思いあがりと悪を行うすべての者を刈り取られ、来るべき日に彼らを焼き尽されることをわたしは見た。第三天使のメッセージは、それを信じると公言している多くの人々の心にパン種のような働きをまだ続けなければならず、彼らの傲慢、利己心、貪欲、この世の愛などを追い出さなければならないのである。」(教会への証 1 巻 137)

c.　クリスチャン管理者の生活には誇りではなく、何が見られますか (ヤコブ 4:6)。

「キリストの生涯について学び、その教えを実行するすべての人はキリストのようになる。キリストのような感化を人に及ぼすに至る。そして、円満な品性を表すのである。しっかりした信仰を持ち、虚栄心や誇りなどによってサタンの誘惑に打ち負かされることもない。神の御旨を行い、服従の道を謙遜に歩むことを求める。その品性の感化は、神の御事業の進展に大きく貢献し、御働きの健全な純潔さを増進する。……

これらの完全に生まれ変わった人々の中に、この世は人間の品性を聖化する真理の力の証拠を見る。彼らを通してキリストはそのご品性と御旨とをこの世に知らされる。神の子らの生涯を通して主に仕える祝福が表されるが、それと反対のものが神の戒めを守らない人々のうちに見られる。両者の違いは実にはっきりしている。神の戒めにそむいて腐敗しているこの世の影響から神の大能の御力によって守られる。最も低い者から、最も高い信任を受けている者まで、神の力に守られ、信仰を通して救いへと進んで行くのである。」(伝道 423)

木曜日 *7月14日*

5.　　金銭への愛着

a.　金銭への愛着はあなたに何をもたらしますか (テモテ第一 6:10, 伝道の書 5:10)。

「聖書は人が正直な方法で富を得たのであれば、金持であることを罪としていない。金銭ではなく、金銭を愛する心がすべての悪の根源である。財産を得る力を人間に与えられたのは神であって、神の家司として行動し、自己の富を無我の精神をもって使用する人の手によって、富はその所有者にも、また社会にも祝福となる。しかし、多くの者はこの世の宝に夢中になり、神の要求と他に困っている人がいることに無感覚になっている。自分の富は自分の誇のために用いるべきものだときめ、つぎつぎに家を建て、土地をふやし、贅沢な物で家を満たすのである。しかも、その周囲には悲惨、犯罪、疾病、そして死に遭遇している人がたくさんいる。このように自己奉仕に生きる者は神の性格ではなく、悪魔の性質を自らの中に発達させているのである。」(ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 190)

b.　すべての忠実な管理者の生涯において、最高の優先事項は何ですか (コリント第一 2:2; マタイ 6:33; ルカ 9:25)。

「罪人が十字架にたどりつき、自分を救うために死なれたお方を見上げる時、彼は満ち満ちた歓喜をもって喜ぶことができる。なぜなら彼の罪が許されたからである。十字架の下にひざまずくとき、彼は人間が到達することができる最高の場所に到達したのである。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1902 年 4 月 29 日)

金曜日 *7月15日*

個人的な復習問題

1.　嫉妬はあなたの管理職にどのような影響を及ぼしますか。
2.　クリスチャンの管理職の原則に従わない人とあなたはどのような関係を持つべきでしょうか。
3.　強欲な生活を送る結果は何ですか。
4.　あなたの資金的な決定の基礎となるものは何でしょうか。
5.　世俗的な財産に夢中になってしまう危険性を説明しなさい。

悪い傾向に打ち勝つ（II）

暗唱聖句：「また、いばらの中にまかれたものとは、御言を聞くが、世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。」（マタイによる福音書 13:22）

「金銭を愛するすべての者が…苦い苦悩のうちに泣く日が来るであろう。『ああ、富の欺きよ！わたしは金銭のために自分の魂を売ってしまった』。」(教会への証 3 巻 544, 545)

推奨文献：　管理職への勧告 133–140

日曜日　*7 月 17 日*

1.　欺瞞

a.　どのようにサタンは、商取引で不当な利益を得ようとする人の心や口をしばしば歪めようとしますか (エレミヤ 6:13; 使徒行伝 5:3, 4)。

b.　ダビデもソロモンも、惑わす唇からの解放をどれほど切に願っていましたか (詩篇 101:7; 箴言 30:8（上句）)。

c.　クリスチャンの管理者は、しばしば欺瞞的な人々と接触しなければならないので、どのような祈りを天に昇らせるべきでしょうか (詩篇 43:1（下句）)。

d.　神はしばしばどのように、欺く人が自分自身のたくらみの犠牲となることをお許しになりますか (詩篇 7:14–16)。

2. 不正直

a. わたしたちが他人の評判を傷つけるときに起こる悪の深さ、そしてそれを神がどのように見ておられるかを述べなさい (箴言 6:12–19)。

「人食い人種が、まだ生暖かいびくびく動くえものの肉を食べている光景は思っただけでもぞっとするが、しかしこういう行為よりももっと恐ろしい結果は、真意を誤り伝えられたり、評判を傷つけられたり、品性を批判されたりすることなどによって生ずる苦悩と破滅である。……

うわさ話と、うわさを言いふらす精神は、サタンが不和と争いの種をまき、友を引きはなし、私たちの立場の真実性に対する多くの人の信念をぐらつかせるための特別な働きである。

激しいことばを口にすることは、人間が生まれながらにもっているものである。このような性癖に負けてしまう人々は、サタンが心の中にはいり、他人のまちがいやあやまちにすぐ気づかせるようにさせるために戸を開いているのである。彼らの短所が強調され、彼らの欠陥が注目され、神と共に働く人としての自分の義務を果たそうと最善の努力をしている人に対する信頼を失わせるようなことばが口にされる。しばしば邪推という種がまかれる。なぜなら、人は自分が好意を示されるべきであるのに、そうでなかったと考えるからである。」(ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 503, 504)

b. 主は、金銭取引で不誠実な人をどのようにお考えになりますか (申命記 27:17–19; 箴言 11:1; 20:23)。

「すべての業務の会計、すなわちすべての取り引きの明細は、目に見えない検査官たちの監査をうける。彼らは神の代理者である。神は決して不正と妥協せず、不義をみのがさず、悪を軽視なさらない。……

悪事をなすすべての者に対して、神の律法は有罪の宣告を下す。その声を聞くまいとしても、その警告を打ち消そうとしても無駄である。その声は彼を追いかけ、彼の耳になり続け、彼の平和を滅ぼす。これに心を止めなければ、死ぬまで彼につきまとう。それは審判の時に、彼に不利な証言を立てる。それは消すことのできない火で、ついには魂と肉体を焼きつくすのである。」(教育 160, 161)

c. 不正直に手に入れたものは、どうなりますか (箴言 13:11; 15:27; 21:6)。

「どんな事業の計画も人生の目的も、それが現世の短い年月だけに限られたものであって、永遠の未来のために準備するものでないならば、それは健全であることも完全であることも不可能である。」(同上 161)

3. 不正

a. わたしたちが他の人々を扱う際の不公平を避けるために、どのように警告されていますか (レビ記 19:15)。

「一人かそれ以上に偏愛を示しながら、あなたの他の兄弟とは気が合わないからといって無視してはならない。あなたが間違いを犯していると考える人々を厳しく取り扱いながら、その一方でもっと罪深くもっと譴責に値する他の人々、すなわちキリストに似ていないふるまいのために厳しく譴責されるべき他の人々は支持され、友として扱われることがないように、気をつけなさい。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1895 年 3 月 12 日)

「各自が自分に定められた立場と場所に立って、働きをすることである。あなたがたの中の一人一人が、神の前で、この終わりの日のために、偉大で神聖で厳粛な働きをしなければならないのである。一人一人が自分の責任を負わなければならない。. . . . あなたがたのうち、誰も、他の者が最高の地位を得ることを恐れる必要はない。 偏見なく、偽善なく、それぞれが扱われるべきである。」(クリスチャンの指導職 39)。

b. クリスチャンの管理者は、恵まれない人々を扱うときに、何をしますか (詩篇 82:2–4)。

「神はご自分の民が、貧しい人や苦しむ人々が圧迫されるのを許さないように要求なさる。もし彼らがすべてのくびきを折り、しえたげられている人を解き放ち、困窮している人々を私心なく親切に思いやるならば、そのとき約束された祝福は彼らのものである。もし教会の中に盲人をつまずかせるものがいるなら、彼らは処罰されるべきである。なぜなら、神はわたしたちを盲人や、苦しむ人や、やもめや、孤児の保護者とされたからである。神のみ言葉の中に言及されているつまずきの石とは、盲人をつまずかせるためにおかれた一片の木を意味するのではない。それよりはるかに多くを意味する。それはどのような行動であっても、盲目な兄弟の感化力を損ない、その人の利益に反して働いたり、あるいはその人の繁栄を妨げようとする行動を意味している。

盲目で貧しく病んだ兄弟、他人に依存しなくてもよいようにあらゆる力を尽くしている兄弟は、可能なかぎりあらゆる方法で、自分の兄弟から励ましを受けるべきである。しかし、彼の兄弟であると公言し、自分のすべての機能を用いて、他人に依存していないのに、これまで盲人に対する自分たちの義務を忘れ、困惑させ、苦しめ、彼の道をふさぐ人々は、神が自分たちの祈りを聞いてくださる前に、悔い改めと回復を要求される働きをなしているのである。そして彼らの不幸な兄弟が、不当に扱われるのを許してきた神の教会は、悪が正されるためにできるかぎり全力を尽くすまでは、罪ありとされるのである。」(教会への証 3 巻 519, 520)

4. 悪い人々を避ける

a. 主はわたしたちの偉大な相談者ですが、この地上でわたしたちはだれから勧告を求めることができますか (箴言 13:20)。

「青年にとって唯一の安全な道は、純潔な人々、聖なる人々と交わることである。こうして生来の悪へ向かう傾向は、抑制される。自分たちの仲間に神を畏れる人々を選ぶことによって、彼らはめったに神のみ言葉を疑ったり、疑念や背信を抱いたりすることはない。真に一貫した模範には、善に対して非常に大きな力がある。」(天国で 172)

b. わたしたちがクリスチャンの管理職の原則に調和していない人々から勧告を求めるとき、何が起こりますか (箴言 14:7; テサロニケ第二 3:6)。

「青年たちに感化力を選ばせ、悪い原則と習慣の男女と交わるようになると、……彼らは汚される。静かで気づかない感化力が彼らの心情を彼らの生活に織り込み、彼らの経験そのものとなり、そしてまさに絶壁のふちを歩きながら、危険に気づかないのである。彼らは口のうまい人の言葉や、欺瞞者のあまい言葉を愛するようになり、だれかのお世辞で頂点に運ばれないかぎり、落ちつかず、不安で、不幸なのである。……不信心者の勧告のうちに歩むことが、罪人の場所に立ち、あざける者の座にすわることへ向かう第一歩である。」(同上)

「クリスチャンが道徳心のだらしない人々と交わるということは間違っている。 知性や道徳の強さに何ら寄与することなく、時間を占める親密な日常的な交わりは危険である。もし人を囲む道徳的な雰囲気が純潔で聖化されたものでなく、堕落によって汚されたものであれば、その雰囲気を呼吸している人々は、ほとんど気がつかないで知性と心にそれが働き、毒し、破滅させることを見出すことになる。思いが自然に低水準に向かう人々と交流していることは危険である。徐々に気づかないうちに、良心的で純潔を愛することが自然であった人々が、同じ水準になり、彼らがそのように常に接触してきた愚行や道徳的な不毛にあずかる者となり、同調するようになる。」(教会への証 3 巻 125)

木曜日 *7月21日*

5.　　富を得ることの無益さ

a.　わたしたちが死ぬとき、どれくらいの地上の富を保持しますか (詩篇 49:16, 17; 伝道の書 5:13–15; テモテ第一 6:7)。

b.　人類の大審判の時に、わたしたちは何を持っていくことができますか (マタイ 16:26; 箴言 11:4; イザヤ 31:7)。

「こうして、あがなわれた者は、イエスがかれらのため備えたもうた住居に迎えられるのである。そこでかれらが交わる人々は、地上の悪人、偽りを言う者、偶像を拝む者、汚れた者、不信仰な者ではなく、悪魔に打ち勝ち、神の恵みによって完全な品性を形づくった人々である。この地上で彼らを苦しめたあらゆる罪の傾向、あらゆる不完全さは、みな、キリストの血によって除かれ、太陽の輝きよりはるかにすぐれたキリストの栄光の美と輝きが、かれらに与えられるのである。そして、かれらを通して輝く人格の美、キリストの品性の完全さは 、とうていこの世の外見の麗しさの及ぶものではない。かれらは神の大いなる白きみくらの前に罪なき者とせられ、天使たちの尊厳と特権にあずかるのである。

こうした栄えある嗣業を思うとき、人は『どんな代価を払って、その命を買いもどす』(マタイ 16:26) ことができるであろうか。人は、たとえ貧しくても、この世の与えることのできない富と尊厳とを自分のうちにもっているのである。罪よりあがなわれ、きよめられ、神へのご用にその尊い力のすべてをささげた魂はこの上もなく尊いものである。天ではただ一人の救われたもののためにも、神と、天使は大きな喜びを感じる。そして、その喜びは、きよい凱歌となって表現されるのである。」(キリストへの道 176-178)

金曜日 *7月22日*

個人的な復習問題

1.　欺瞞的な伝達の結果は何ですか。
2.　不正直は、欺いた人にどのような影響を及ぼしますか。
3.　クリスチャンの管理者は、金銭的な取引において、他の人々をどのように扱うべきですか。
4.　だれがクリスチャンの管理者の金銭的な相談者ですか。
5.　物質的な富の一時的な性質について、わたしたちは何を心に留めておくべきですか。

仕事の祝福

暗唱聖句：「主なる神は人を連れて行ってエデンの園に置き、これを耕させ、これを守らせられた。」（創世記 2:15）

「人生の真の栄光と喜びは、働く男女によってのみ見出される。労働はそれ自体報いをもたらし、正しく過ごした一日の疲労によって買い取った休息は気持ちのよいものである。」（ｸﾘｽﾁｬﾝの節制と聖書の衛生 98）

推奨文献：　青年への使命 173–176

日曜日　*7月24日*

1.　労働

a.　創造の時に、恵み深くも人類に何が提供されましたか (創世記 2:15)

「神は、頭脳を活動させ、身体を強壮にし、能力を発達させるために、労働を祝福として人間にお与えになった。知的、また体的に活動することが、アダムの清い存在の最高の楽しみの一つであった。堕落の結果、彼は、美しい家庭を追われ、日ごとの食物を得るために、かたい土とたたかわなければならなくなったとき、その同じ労働は、楽園での楽しい仕事とはずいぶん異なっていたとはいえ、誘惑の防壁であり、幸福の泉であった。労働には、労苦や苦痛が伴うからといって、労働をのろいとみなすものは誤っている。金持ちは、しばしば、労働階級を軽べつして見下すが、それは、神が人間を創造された目的から全くはずれている。どんなに多くの富を所有している人であっても、祖先のアダムに与えられた嗣業と比較すれば、いったいどれほどのものであろうか。しかし、アダムは怠惰でなかった。人間の幸福をもたらすものが何であるかを知っておられた創造主は、アダムに仕事をあてがわれた。働く男女だけが、生活の真の喜びを発見する。」（人類のあけぼの上巻 25, 26）

b.　賢明な人の労働は、どの分がその人に属しますか (伝道の書 3:13)。

2. 働くようにとの命令

a. 第四条の極めて重要な側面を一つあげなさい (出エジプト 20:9)。

「あなたの公言する宗教は、安息日に教会に出席することと同じように、働くための六日間にあなたの時間を用いることを、あなたの義務とする。あなたは仕事において勤勉でない。あなたは何時間も、何日も、何週間でさえも、何もなしとげずにやり過ごしてしまう。あなたが世に宣べ伝えることのできるまさに最高の説教は、あなたの生活において決定的な改革を示し、自分自身の家族を養うことである。使徒は次のように言った、『もしある人が、その親族を、ことに自分の家族をかえりみない場合には、その信仰を捨てたことになるのであって、不信者以上にわるい』(テモテ第一 5:8)。」(教会への証 5 巻 179)

「不精や怠惰は、クリスチャンの木に結ぶ実ではない。」(家庭の教育 117)

b. クリスチャンの管理者はどのように自分の働きをなしますか (コロサイ 3:23)。

「地上に住む人々に定められた骨折りの道は、厳しく疲れるものかもしれないが、贖い主のみ足の跡によって誉れを受けた道であり、この聖なる道に従う人は安全である。教訓と模範によって、キリストは有益な労働を高貴なものとされた。このお方は幼少の頃より、骨折りの生活を送られた。このお方の地上生活の大部分は、ナザレの大工の作業場における忍耐強い働きのうちに過ごされた。一般の労働者の衣を着て、命の主は、ご自分が生活された小さな町の通りを歩まれ、ご自分のつつましい労働のために往復された。そして仕える御使たちは、このお方が気づかれることなく、尊ばれることなく、貧しい百姓や労働者たちと並んで歩まれるときに、付き添っていた。」(両親、教師、生徒への勧告 276)

「あなたは自分の道の真ん中に横たわっている義務をなおざりにするのではなく、かえってあなたの周りで開かれる小さな機会を活かすべきである。あなたは生活上のより小さな働きにおいて、最善を尽くし、神のみ摂理があなたに割り当ててくださった働きを心から忠実になすべきである。どれほど小さくても、あなたはそれをもっと大きな働きをなすときの徹底さを尽くしてなすべきである。あなたの忠誠は、天の記録において承認される。」(ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1890 年 6 月 16 日)

c. 子供たちに働きと勤勉であることを教える以外に、彼らの人生の早い段階で他にどのような管理職の側面を教えるべきでしょうか (箴言 3:9)。

3. 家族の輪

a. クリスチャンの管理職は、いつ自分の訓練を始めるべきですか (申命記 6:7)。

「善のためであれ、悪のためであれ、子供の教育は、その幼少時より始まる。子供たちは自分が家族組織の一部であることを教えられるべきである。彼らは家庭の中で自分たちの役割を果たすように訓練されるべきである。彼らは絶えず重荷となるべきではなく、かえって父親と母親の重荷を軽くすべきである。年長の子供が成長するにつれ、彼らは家族の中の年少の者たちの世話を助けるべきである。母親は、子供たちができ、かつなすべき仕事をすることによって、自らを疲弊させるべきではない。」(原稿ﾘﾘｰｽ 10 巻 206, 207)

b. 両親は、自分の子供たちに働きの原則と生活の義務を、どのように教えることができますか (箴言 22:6)。

「ホーム・スクールで、子供たちはどのように毎日の生活の実際的な義務を果たすかを教えられるべきである。彼らがまだ幼いうちに、母親は彼らに日ごとになすべき単純な仕事を与えるべきである。彼らに教えるほうが、自分でそれをするより、時間がかかるであろうが、母親は自分が彼らの品性建設のために、有用性という土台を築くべきことを覚えていなさい。家庭は自分が筆頭教師である学校であることを覚えていなさい。自分の子供たちに、どのように家庭の義務を手早く、じょうずになすかを教えるのは、母親の仕事である。人生のなるべく早い時期に、彼らは家庭の重荷を分かち合うよう訓練されるべきである。幼年時代より、男の子も女の子もだんだんとより重い重荷を担い、家族組織の働きにおいて、知的に助けとなることを教えられるべきである。」(両親・教師・生徒への勧告 122)

c. 怠惰の避けがたい結果は何ですか (箴言 19:15)。

「怠惰が充満しているところでは、サタンが人生と品性を台無しにするために、自分の誘惑をもって働く。」(ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1894 年 10 月 18 日)

4. 不適切な休息

a. 第四の戒めにある「六日間働いて」という神の命令を果たさず、その代わりに一週間のうちの六日間を休息日とする人々への勧告はどのようなものでしょうか (テサロニケ第二 3:10)。

「神は、人間に、働くために六日間をお与えになり、彼ら自身の働きがその六日の働き日になされるように要求される。」(人類のあけぼの上巻 358)

「神のことばは、働こうとしない者は、食べることもしてはならないと言っている (テサロニケ第二 3:10)。主は、けんめいに働く人になまけ者を扶助することを求めてはおられない。時間を浪費し、努力をしないために、貧しく乏しくなっている人が多い。このようなありさまにおちいった人びとが、その誤りを正さないならば、彼らのためにいくら努力しても、すべては穴のあいた袋の中に宝を入れるようなものである。」(キリストの実物教訓 223)

「改革しようと努力している人々には職業を与えなければならない。働ける者には無料で衣食住が手にはいると思わせてはならない。他の人々のためにも、またその人自身のためにも、受けたところと等しいものを返しうる方法を考慮してやるべきである。自給自足に対する努力はすべて奨励なさい。これは自尊心と独立心を高める。心身を有益な働きに用いることは誘惑を防ぐのに重要なことである。」(ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 152)

「仕事をなまけ、不注意な生活をしている者は、その習慣が宗教生活にまで影響を及ぼし、神のための奉仕も十分にできなくなってしまう。勤勉に努力すれば、世界のために祝福を与え得る身でありながら、怠惰のために身を滅ぼしている者が多い。職業につかず、また確固とした目的も持っていないために、様々の誘惑におちいる者が多い。悪友と悪習慣とが、心と魂を堕落させ、この世の命だけでなく、来たるべき命までも失ってしまうことになる。

どの方面の仕事に従事しても、神のことばはわたしたちに、次のように勧めている。『熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、』『すべてあなたの手のなしうる事は力をつくしてなせ。』『あなたがたが知っているとおり、あなたがたは御国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう。あなたがたは、主キリストに仕えているのである』(ローマ 12:11, 伝道の書 9:10, コロサイ 3:24)」(キリストの実物教訓 321, 322)

木曜日 *7月28日*

5.　「神の安息」(ヘブル 4:1)

a.　主はいつ人類のためにご自分の安息の日を制定してくださいましたか (創世記 2:2)。主はご自分の本来の制度をどのように確認なさいましたか (マルコ 2:27, 28)。

「神ご自身が、時の終りまで続く週の見本として最初の週を区分けされた。他のすべての週と同様に、それは文字通りの七日間からなっていた。六日は創造の働きに携われた。七日目に神は休息され、それから、この人を祝福して、人の休息の日として取り分けられた。」(ｸﾘｽﾁｬﾝ教育 190)

b.　主が「わが安息日」もしくは「わが休息」と呼ばれたもののために、わたしたちは、どのように準備をしますか (出エジプト 31:13; ヘブル 4:5)。マルコ 15:42; ルカ 23:54, 56.

「金曜日に、安息日のための準備が完成するようにしなさい。衣服の準備ができており、料理がすべて終わっていることを確認しなさい。ブーツを磨き、入浴はすませておきなさい。このようにすることは可能である。あなたがそうすることを常とするならばできる。安息日は衣服を修繕したり、食物を料理したり、娯楽を求めたり、あるいはその他のどのような世俗的な仕事のためにも与えられてはならない。日没前に、すべての世的な仕事はわきへおき、すべての世俗的な新聞は目に入らないところへしまいなさい。両親がた、あなたの働きとその目的を自分の子供たちに説明しなさい。そして彼らにも戒めに従って安息日を守る準備にあずからせなさい。」(教会への証 6 巻 355, 356)

「安息日の準備を第六日目に怠り、安息日に料理をする者は、第四条をおかしているのであり、神の律法の違反者である。」(霊的賜物 3 巻 253, 254)

金曜日 *7月29日*

個人的な復習問題

1.　労働の目的は何ですか。
2.　第四条のどの部分が見過ごしにされがちですか。
3.　いつ、わたしたちは労働を感謝し始めるべきですか。
4.　もし、平日の生産性が低かったらどうなるのでしょうか?
5.　神の聖なる日におけるクリスチャンの休みの性質を述べなさい。

安息日 2022 年 8 月 6 日

第一安息日献金
世界総会教育支部のために

今はかつてなかったほど、わたしたちの子供たちの教育に投資を必要としています。この世の事柄によって四方から攻撃されているため、彼らを敵の狡猾さから保護することはますます難しくなっています。かつてはアクセスが制限されていたものが、今は文字通り、「スマート」ホンや他の機器を通して、わたしたちの子供たちに付着しています。わたしたち自身の子供たちに伝道の働きの準備をさせられないとした、いったいどのようにその働きにふさわしいものとなれるでしょうか。

「真の教育とは伝道者を養成することであって、神のむすこ、娘はすべて伝道者となるように召された者である。わたしたちは神と人とに奉仕するために召されている。そしてこの働きに適した者となることが、わたしたちの教育の真の目的でなければならない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 364）

このパンデミックの時に、多くの親は自分の子供たちがどのように教育されているかに気づくようになりました。多くの人々は学校へ行かせることが自分の子供たちにどれほどの感化を及ぼしているかに気づきました。そして彼らは子供たちを神の誉と栄光のために教育する助けとなる教材を求めて要望してきました。世界総会の教育支部はこの目的を視野に入れて、12 学年のカリキュラムを通じての学校を創設する過程にあります。わたしたちの教育者やさまざまなユニオンやフィールドともパートナーを組み、このカリキュラムの準備の働きは順調に進んでいます。

事業は、時間、資金、人材を必要としています。関係者は教育や、自分たちが教科書や学習帳を準備している分野 に資格のある人でなければなりません。あなたの支援が最高品質をもった教材を準備します。こうして生徒たちがそれ用いて自分の学校やホームスクールで「この世における有用性と永遠を通じての神の奉仕にふさわしい」ものとなるのです（両親、教師、生徒への勧告 495）。

この事業はわたしたちの手の届く金額より大きいものです。次の三つのことをなすために惜しみない献金を必要としています。教材を準備すること、教材を翻訳すること、また、それらを自分の資金力で手に入れられない貧しい場所で手の届くものにすることです。たしかに、事業は大きいです。しかし大いに価値があります。皆さんの惜しみない支援をもって、わたしたちは数学から言語、社会科学までの教材を作り、全世界に福音のメッセージを伝えるために、わたしたちのうちの最も若い者たちを準備させるのです。

世界総会教育支部

活動的で能力がある

暗証聖句：「すべてあなたの手のなしうる事は、力をつくしてなせ。あなたの行く陰府には、わざも、計略も、知識も、知恵もないからである。」（伝道の書 9:10）

「真の幸福は、善であること、そして善をなすことに見出される。最も純潔で、最高の働きは、自分たちの定められた義務を忠実に果たす人々にもたらされる。正直な働きはどれも品位を下げるものではない。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1901 年 12 月 5 日）

推奨文献：　教育 310–320

日曜日　*7月31日*

1.　職業を選ぶ

a.　聖書はどのように有用な職業を賞賛していますか (テサロニケ第二 3:11, 12)。

「地上の事柄は、多くの人々が自覚するよりも、もっと近く天に結びついており、もっと直接的にキリストの監督下にある。すべての正しい発明や改善はその源が、勧告においてすばらしく、働きにおいて卓越しておられるお方にある。医者の巧みな一触れ、彼の力と神経と筋肉、身体の繊細なメカニズムについての知識は、神聖な力の知恵であり、苦しむ者のために用いられるべきである。大工が自分の工具を用いる時の技能や、鍛冶屋が金床を作る力は、神から来る。わたしたちが何をしても、どこへ置かれても、このお方はわたしたちの思いを支配し、わたしたちが完全な働きをなすことができるように望まれる。」（両親・教師・生徒への勧告 277）

b.　社会への最悪の呪いの一つ、また最大の祝福の一つをあげなさい (テサロニケ第二 3:10; 箴言 10:16)。

「悪に対する最も確かな予防手段の一つは有益な職業であり、その一方怠惰は、最大の呪いの一つである。なぜなら、悪徳、犯罪、貧困がその後に続くからである。つねに忙しく、快活に自分の日ごとの職務に出ていく人々は、社会の有用な一員である。」（同上 275）

2. 受け入れられる奉仕

a. 職業を選ぶ際に、どのような要素を考慮すべきですか。わたしたちの能力は、どのように人生におけるわたしたちの立場を決定しますか。例を挙げなさい (ピリピ 2:14, 15)。

「人生の機会については、だれがその大小を決定することができるだろう。社会の低い地位にありながら世人の祝福となる活動を始めて、王侯もうらやむような業績をなしとげた働き人がどんなに多いことであろう。…

人生において我々に割り当てられる特定の地位というものはわれわれの能力によって決定される。すべての人が同じように進歩し、同等の実力をもって同じ働きをするというわけにはいかない。神はヒソプからヒマラヤ杉の大きさに、オリブの木が堂々たるしゅろの木の高さになるようにとは望まれない。しかし、われわれは、それぞれに、人間の力と神の力の結合によって到達しうるだけの高さを目指さねばならない。

自分の中にある能力を発揮しないために、当然、達すべきところに達しない人が多い。彼らは神の力に寄りすがるべきであるのにそうしようとしない。多くの者は当然真の成功に到達できる道から外れている。彼らはもっと大きな栄誉やもっと愉快な仕事を求めて、彼らに適していないのに何か他のことをやろうとする。何か他の職業に適した才能を持っているのに、知的な職業につこうと野心を抱く人々が多い。農夫や職人や看護師としてなら成功したかもしれない人々が、牧師や弁護士や医者のような不向きな地位を占めている。一方にはまた、責任のある地位を占めることができるような人が、熱心や勤勉や忍耐が足りないばかりに安易な地位に自ら甘んじている場合もある。

われわれは人性に対する神のご計画にもっと注意深く従わなければならない。最も手近な働きに最善を尽くすこと、われわれの道を神に任せること、神の摂理の指示を見守ること―こうしたことが職業の選択に当たって、安全な手引きを保証する原則である。」(教育 315, 316)

b. わたしたちのタラントや召しが何であろうと、わたしたちの一生の働きの最も重要な局面は、何ですか (ヘブル 6:10)。

「純潔で、聖化された愛、キリストの一生の働きのうちに表現された愛は、聖なる香のようである。マリヤの割られた香油のつぼのように、それは家全体を香りで満たすのである。」(教会への証 6 巻 84)

3. 働きの論理

a. わたしたちの特定の職業に関わらず、自分の仕事に関連して何がわたしたちの目標となるべきですか (コリント第一 3:12–14; テサロニケ第二 2:17)。

「神は、身分の高い者も低い者も、金持ちも貧乏人も、熱心に忠実に、神の栄光を一心に求めていない者の仕事には、神の名をお入れにならない。」(管理職への勧告 128, 129)

b. 何がクリスチャンの論理ですか (コロサイ 3:22 − 24)。

「日ごとのどんなに卑しい務めも、宗教的態度で行なうべきである。神のことばに絶対的に従うことが、いかなる人にも、最大の資格を与えるのである。

直接宗教の働きに関係がないからといって、自分たちの生涯はなんの役にも立たず、神の国の発展のために何もしていないと感じる人が多い。しかし、これはまちがった考えである。だれかのしなければならない仕事が与えられているならば、自分たちは神の大きな家族の中でなんの役にもたたないなどと思ったりしてはならない。どんなに小さな務めでも軽視してはならない。まじめな仕事は、なんであっても祝福である。その仕事を忠実にしているならば、どんな信任でも受ける訓練となるのである。

どんな仕事でも、全く自己を捨てて神のために行なうならば、神はそれを最上の奉仕としてお受けになる。真心から喜んでささげるささげ物は、なんであっても、小さいものではないのである。

たとえ、わたしたちはどこにいても、その場にある義務を果たすように、キリストは命じておられる。もし家庭にいるならば、家庭を楽しいところにするように喜んで熱心に行ないなさい。あなたが母親であれば、子供たちをキリストのために育ててください。これは講壇に立つ牧師と同じく、神のための働きである。また、台所で働くことが、自分の義務であれば、完全な料理人になるように努めなさい。健康的で栄養のあるおいしいものを作りなさい 。そして料理に最高の材料を用いるときに、自分の心にも最高の思想がわいてくるような材料を与えなければならないことを忘れないでもらいたい。また、農業その他の職業に従事している人は、現在している務めを成功させるように努力してください。今している仕事に注意を集中しなさい。どんな仕事をしていても、キリストを代表しなさい。キリストがあなたの立場におられたら、彼がなさる通りにしなさい。

タラントは、どんなに小さくても、神には、その使い場所がある。一つのタラントでも賢明に活用されるならば、それは、定められた働きを成し遂げるのである。小さい義務を忠実に果たしていくことによって、わたしたちは、加え算で仕事をしていくけれども、神は、かけ算で、わたしたちのために働いてくださるのである。このような小さいものが神の働きの中で、何よりの貴重な感化となるのである。」(キリストの実物教訓 335, 336)

4. 最も重要な働き

a. クリスチャンが携わることのできる最高の働きは何ですか (マタイ 28:19, 20; 詩篇 96:3)。

「すべての働きにまさる働き―魂のエネルギーを引きつけ、従事させるべき、他のすべてにまさる仕事―は、キリストがそのために死なれた魂を救う働きである。これをあなたの生涯の主要にして、重要な働きとしなさい。それをあなたの特別な一生の仕事としなさい。この壮大で高尚な働きにおいてキリストと共に協力し、母国や外国で伝道者となりなさい。故郷でもかなたの地方でも、魂を救うために働く準備のできた有能な者となりなさい。神のみわざをなし、他の人々のために骨折ることによって、あなたの救い主を信じる信仰を表しなさい。ああ、若い者も年配者も徹底的に神に改心し、自分のすぐそばにある義務にとりかかり、機会のあるときに働き、神と共に働く共労者であるならば！これが実現するならば、大群衆の声が、自分たちを闇から呼び出し、驚くべきみ光に入れて下さったお方の賛美を表に表すのである。」(ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1893 年 5 月 4 日)

「真の弟子はみな伝道者として神の国に生れているのである。生ける水を飲む者はいのちの泉となる。受ける者が与える者となる。魂のうちにあるキリストの恵みは、砂漠の中の泉のようなもので、それはわきあがってすべての人を元気づけ、いまにも死にそうになっている人々にいのちの水を飲みたいと熱望させるのである。」(各時代の希望上巻 234)

b. なぜ伝道者は、自分の働きにおいて喜びに満たされるのですか (ルカ 15:6, 7; 詩篇 51:12, 13)。

「魂の神への改心は、人類があずかることのできる最も偉大で、最も高尚な働きである。この働きにおいて、神の力、神の聖潔、神の寛容、そしてこのお方の無限の愛が表される。すべての真の改心はこのお方に栄光を帰し、御使たちは、どっと讃美にわくのである。」(教会への証 7 巻 52)

「わたしたちは神と働く共労者となり、魂を罪の奴隷から救出してキリストの王国を建てること以上に、高尚な喜びをもつことはできない。この喜びはキリストの喜びであり、これにあずかるすべての魂は、その喜びが満ちあふれるのである。何度も何度も、わたしたちはこの喜びの泉から飲み、そのうちにあって喜ぶことができる。そして、他の喜びはとてもこれと比べることはできないことを知るのである。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1894 年 2 月 13 日)

木曜日　*8月4日*

5.　　他の職業

a.　クリスチャンのさまざまな職業において、魂を救う働きをどのように実践すればよいのですか (エペソ4:28; コリント第一 15:58)。

(1)　医療の働き「忠実で神を畏れる医者によってしめられるほど、重要な伝道分野はない。」(教会への証 5 巻 448)
(2)　実業「真理の大原則を、商取り引きのあらゆる面に織り込む実業家が必要である。……ダニエルは、あらゆる実業に従事する者のよい模範である。」(キリストの実物教訓 326)
(3)　教師「教師、特に子供のための教師が必要とされている。」(教会への証 6 巻 201)
(4)　他の職業「真の幸福は、善であること、そして善をなすことに見出される。…正直な働きはどれも品位を下げるものではない。」(ユース・インストラクター 1901 年 12 月 5 日)

b.　神は正直に得た富をどのようにご覧になりますか (申命記 8:18)。

「聖書は、金持ちを金持ちだからといって責めることはない。それは富を得ることが罪だとは宣言していないし、また金銭がすべての悪の根だとは言っていない。反対に、聖書は富を得る力をお与えになるのは神だと述べている。そしてこの能力は、もし神に捧げ、このお方のみ事業の進展のために用いられるなら、貴重なタラントである。聖書は天才や芸術を責めてはいない。なぜなら、これらは神のお与えになる知恵からもたらされるからである。わたしたちは荒布を体にまとうことによって、あるいは快適さや嗜好や便利さに役立つものをみな家から省くことによって、心をより純潔にしたり、より聖なるものにしたりすることはできない。」(管理者への勧告 138)

金曜日　*8月5日*

個人的な復習問題

1.　わたしたちはどのように有益な労働から益を受けることができますか。
2.　どの要素が、わたしたちの職業の選択に影響を及ぼすべきですか。
3.　人はどのようにして自分の職業を祝福として用いることができますか。
4.　わたしたちはみな、どの一生の働きを味わうことができますか。なぜそれは、それほど喜びを与えるのですか。
5.　魂を救うためのすばらしい機会の例をいくつか挙げなさい。

資産ピラミッドと枠組み

暗証聖句：「忠実な人は多くの祝福を得る、急いで富を得ようとする者は罰を免れない。」（箴言 28:20）

「神から与えられた恩典はみな、もっと熱烈な精神をもち、活発に努力して、神のみ旨の遂行を活発に行なうための神の手段である。」（人類のあけぼの上巻 425）

推奨文献：　教会への証 1 巻 225, 226（教会への証 1 巻 分冊 2 24, 25）

日曜日　*8 月 7 日*

1.　手早く金持ちになる

a.　手早く金持ちになる計画に参加する結果は何ですか（箴言 21:5）。

「利得を得ようとする精神、急いで富を得ようとする精神、この没頭させる世俗の精神は、痛々しいまでにわたしたちの信仰と教理に反している。」（管理職への勧告 231, 232）

b.　クリスチャンの管理職は、なぜ手早く金持ちになる計画に参加する代わりに永遠の富のために労するのですか（詩篇 37:7）。

「サタンは、真理を公言するある人々の特異で利己的で貪欲な気質を見張っている。そして彼は彼らに地の富を提供し、彼らの道に繁栄を投げかけることによって誘惑するのである。彼はもし彼らが自分たちの生来の気質に打ち勝たないならば、富を愛し、自分たちの偶像を礼拝することによって、つまずき、堕落することを知っている。サタンの目的はしばしば果たされる。世の強い愛着が真理の愛に打ち勝ち、あるいは呑み尽くす。世の王国が彼らに差し出され、彼らは熱心に自分たちの宝をつかみ、自分たちがすばらしく繁栄したと考える。サタンは、自分の計画が成功したので勝ち誇る。彼らは神の愛を、世の愛のために手放してしまったのである。」（教会への証 1 巻 142）

2. 労働を通しての富

a. 手早く金持ちになる計画と適切な資金の投資の違いは何ですか（箴言 28:20; 31:16, 24）。

「多くの場合、主が兄弟たちに、ご自分のみ事業を進展させるために、自分たちの資金を扱う道を開かれるとき、サタンは自分たちの資金を倍増させることができると確信するような事業を提示してきた。彼らは甘い話に乗り、彼らの金銭は投資され、そしてみ事業と、しばしば彼ら自身も、一ドルとして受け取ることはないのである。」（教会への証 5 巻 154）

「すべての運動……投機によって手早く金持ちになろうとする願望をかきたてるためにもたらされる運動が、人々の思いをとらえて、かつて死すべき人間に与えられた中で最も厳粛な真理からそらしてしまう。一時は励みとなる兆候があるかもしれないが、事の終りは失敗である。主はそのような運動には何の支持も与えておられない。もしこの働きが是認されれば、他のいかなる方法によっても、この時代の人々に与えられなければならない厳粛な真理を提示する働きから導きそらされることのない多くの人々が、この投機的な計画に引かれることであろう。」（管理者への勧告 234, 235）

「働きは、のろいではなく、祝福である。勤勉な労働は、多くの老若を『怠惰な手のためになすべき危害を見つける』者のわなから守る。だれも労働を恥じることのないようにしよう。なぜなら、正直な骨折りは高尚にするからである。手がもっとも平凡な仕事に携わっているとき、思いは高く聖なる思想に満たされることができる。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1902 年 2 月 27 日）

b. なぜ人々はしばしば投機的な資金事業に携わるよう誘惑されるのですか（箴言 27:20）。

「わたしたちの民にとって、投機に携わることは危険な実験である。彼らはそれによって自らの身を敵地におき、大きな誘惑、失望、試練そして損失の下におく。それから、熱病的な不安と、現在の状況が許すよりもっと早く資金を得たいと切望する願いが訪れる。彼らの状況は、もっとお金を得たいという願いのうちに、徐々に変わる。しかし、しばしば彼らの期待は実現せず、彼らは落胆して、前進するよりは、後退する。……彼らは神から背信している」（教会への証 4 巻 617）

3. 敵の戦略を知る

a. わたしたちの生きている性急な時代にあってさえ、神は憐れみ深くも何を備えて下さっていますか。それは、なぜですか（伝道の書 3:1）。

「時の貴重なことは、実に想像以上である。キリストは、一分一秒を貴重なものとみなされたが、わたしたちもそう思わなければならない。人の一生は、むだにすごすには、あまりにも短い。永遠のために備えをすべき恵みの日は、ほんのわずかしかない。浪費したり、自己の快楽のために用いたり、罪にふけったりする時間はない。……

わたしたちの時は、神に属するものである。一瞬、一瞬が神のものである。そして、わたしたちには、その時を神の栄光のために活用するように、きわめて厳粛な責任が負わせられている。神がお与えになったたまもののなかで、わたしたちの時間ほどに厳密な説明が求められるものは他にないのである。」（キリストの実物教訓 318, 317）

b. わたしたちが自分の時の用い方を計画するとき、どのような要素を考慮すべきですか（ヤコブ 4:13–15）。

c. 神のみ働きを進展させようと努めるとき、わたしたちは何を悟らなければなりませんか（ペテロ第一 5:8）。

「わたしたちには失うべき時間はない。闇の力が激しい勢力をもって働いており、サタンは忍び足で、オオカミが自分の獲物を捕らえるように、今眠っているものをとらえようと近づいている。わたしたちは、今は与えることができる警告、今はなすことのできる働きがある。しかし、まもなく、わたしたちが想像する以上にもっと難しくなる。神はわたしたちが光の水路のうちにとどまり、わたしたちの目を自分たちの指導者にしっかり留めて働くように、そして忍耐強く、辛抱強く、勝利を得るまで押し進むよう助けて下さる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1914 年 11 月 12 日）

d. 霊感は、わたしたちの前にある苦闘について、何を教えていますか（エペソ 6:12; マタイ 24:12, 13）。

「増大する熱心さとエネルギーをもって、わたしたちは時の終りまで主の働きを前進させるべきである。」（両親・教師・生徒への勧告 548）

4. 役立つ者でありなさい

a. 投機的な手早く金持ちになる計画に携わるよりも、わたしたちは自分たちに与えられたタラントをもって何をなすべきですか（ルカ 19:13）。

「主はわたしたちすべての者に、『これで商売をしなさい』をお命じになる（ルカ19:13）。このお方ご自身の知恵によって、このお方はご自分の賜物の用い方に指示をお与えになった。言葉、金銭、感化力、繁栄のタラントは、神の栄光とみ国の前進のために積み上げられるべきである。このお方はご自分の賜物の正しい使用を祝福して下さる。」（管理者への勧告 116）

「どれほど各個人の持っている財産が大きかろうと、小さかろうと、それはただ委託されたものにすぎないことを覚えていなさい。自分の力、技能、時間、タラント、機会、そして資金のために、彼らは神に会計報告を出さなければならない。これは個々人の働きである。神はわたしたちがご自分のように、すなわち、他の人々に与えることによって、寛容で、高尚で、慈悲深くなることができるように、わたしたちに与えて下さるのである。自分たちの神聖な使命を忘れて、ただ誇りや利己心にふけるために蓄え、費やすことを求める人々は、この世の益と楽しみを得る。しかし、神の御目には、その霊的な到達度から判断すると、彼らは貧しく、あわれむべき者であり、みじめで、盲目で、裸なのである。

正しく用いられるならば、富は人とその同胞の間の感謝と愛情という黄金の絆となる。そして強い絆は彼の愛情を自分の贖い主に結びつける。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1882年5月16日）

b. わたしたちはソロモンの経験から、何を学ぶことができますか（伝道の書 2:10, 11）。

「注意をひく、多くの話題を避けなければならない。時間をとり、せんさく心を起させ、しかもその結果のむなしい問題が世の中には多く、比較的つまらぬことに細心の注意と努力を払うことがよくあるが、それは最高の問題に対して払うべきものである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 438）

「今は安価で朽ちるものに捧げられている活力が、世を啓発すべき働きに用いられるべきである。神がお与えになったすべての活力は、現在と永遠のためになる祝福された満足を伴う働きに用いられるようにしなさい。」（原稿ﾘﾘｰｽ 6巻 267）

「だれひとりとして目に見える資源の乏しさを嘆いて、時間を浪費してはならない。外見は有望ではないかもしれないが、活動と神に対する信頼は、資源をつくり出すのである。」（国と指導者上巻 211）

5. 買われた所有物

a. なぜ倉を建てた金持ちで愚かな人の態度が、わたしたちにとって警告なのですか（ルカ 12:16–21）。

「神の民だと公言する人々の側で、神に対する悲しむべき物惜しみがある。キリストに捧げられるべき資金と努力が、自己を喜ばせるために捧げられている。神は、時間、金銭、奉仕を盗まれている。自己愛、自己満足がイエスの愛を魂から閉め出している。そしてこれが、教会の中にもっと大きな熱心さと、わたしたちをはじめに愛して下さったお方へのもっと熱烈な愛のない理由である。キリストがそのために死なれた魂は滅んでいっている一方で、非常に多くの人々が利己的な安逸にふけっている。

これこそ主が切望なさるほど、ご自分の満ち満ちた祝福をご自分の教会に与えることができない理由である。. . . . 彼らがこの世の精神と慣習に陥っている間は、主の祝福を十分に受けることはできない。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1890 年 12 月 22 日）

b. わたしたちの贖いのために支払われた代価を考えるとき、わたしたちは何を最も重要なこととして心に留めているべきですか（コリント第一 3:23; 6:20）。

「わたしたちが思い、魂、力を神にささげようが、ささげまいが、それはみな神に属している。神は各々の人間に、『わたしはあなたに要求するものがある。あなたの熱心さと、あなたの能力と、あなたの活力と、あなたの資金をわたしに捧げなさい』と言って、語りかけられる。このお方にはこれを求める権利がある。なぜなら、わたしたちは無限の愛とカルバリーの十字架の苦悩によって罪の奉仕から贖われたからである。何があろうと、わたしたちは自己に奉仕するために自分の力を捧げてはならない。日ごとに、わたしたちは主が委ねて下さったものを、このお方にお返しすべきである。」（同上 1901 年 1 月 2 日）

金曜日 8月12日

個人的な復習問題

1. **手早く金持ちになる計画に参加する結果は何ですか。**
2. **わたしたちはどのようにして、自分の富を得るべきですか。**
3. **何がキリストのために働く励みを、わたしたちに与えるべきですか。**
4. **わたしたちがもっと自分の資金の忠実な管理者となれるための方法をいくつか挙げなさい。**
5. **何がしばしばわたしたちの心から、キリストの愛を締め出してしまいますか。**

タラントを用いて増やす

暗唱聖句：「主人は彼に言った、『良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ』。（マタイによる福音書 25:23）

「神はわたしたち一人びとりに聖なる信任を委ねてこられた。それに対してこのお方はわたしたちに責任を問われる。わたしたちが最大の善をなしとげて、与え主に栄光を反映するような方法で、神の与えて下さったタラントを働かせることができるように思いを教育することが、このお方のご目的である。」（教会への証 3 巻 32）

推奨文献：　牧師への証 165–170

日曜日　*8 月 14 日*

1.　神の賜物

a.　主みずから、一人びとりのクリスチャンの管理者に何をお与えになりますか（コリント第一 12:8–11）。

「キリストが教会に託されたタラントというのは、特に、聖霊によって与えられるたまものと祝福のことである。〔コリント第一 12:8–11 引用〕。だれもが同じたまものを与えられるわけではないが、主のしもべにはだれにでも何かの霊のたまものが約束されているのである。」（キリストの実物教訓 301）

b.　与え主は、ご自分の管理者から何を期待なさいますか（ルカ 19:23）。

「神は人にさまざまなタラントや賜物をお与えになるが、それは人が無用に横たわっているためではなく、娯楽や自己満足のために用いるためでもない。そうではなく、人が熱心に自己犠牲の伝道の働きができるようにすることによって、他の人々の祝福となるためである。神は人にご自分の栄光を促進するという目的のために時間をお与えになった。」（ユース・インストラクター 1902 年 11 月 6 日）

「わたしたちの天の父は、わたしたちが与えられただけの才能を発揮することをお求めになる。わたしたちには負うことができない重荷を無理に負わせられることはない。『主はわれらの造られたさまを知り、われらのちりであることを覚えていられるからである』（詩篇 103:14）。神がわたしたちにお求めになることは、すべて、恵みによって、わたしたちのなし得ることなのである。」（キリストの実物教訓 339）

2. あなたのタラントを発達させる (I)

a. クリスチャンの管理者は、自分たちのタラントを、どのように発見し、発達させ、用いるべきですか (箴言 1:7; 2:3–9; ヤコブ 1:5)。

「表面は有望に見えない少年少女の中には、豊かな天分が与えられていながらそれを用いていない者が少なくない。教育者の側の認識が足りないために、彼らの才能は隠されたままになっているのである。表面はあらけずりの石のように見ばえのしない少年や少女の中に、熱やあらしや圧力のどんな試練にも耐える貴重な素質が見いだされることがある。真の教育者は、自分の生徒がどんな者になるかということを念頭において、自分が働きかけている素材である生徒の価値を認めなければならない。」(教育 274)

「神には短い時間でなしとげられるべき、大きな働きがある。神は青年たちに知性、時間、資金というタラントを委ねてこられた。そしてこのお方はこれらの良い賜物の使い方について彼らに責任を問われる。このお方は彼らを前線に出るよう召され、この性急な時代の堕落した魅惑的な感化力に抵抗し、ご自分のみ事業において労するのにふさわしい者となるよう召しておられる。彼らは心と精力を準備の働きに打ちこまずに、有用性をもった者になることはできない。」(ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1884 年 5 月 7 日)

「もし、あなたが謙遜な心で、あらゆる悩みや困惑に神の導きを求めるならば、神のみ言葉は、あなたに恵み深い答えを与えることを約束している。そして、このお方のみ言葉は決して失望させることはない。天地は過ぎ去るであろう、しかし主の言葉は決して過ぎ去ることはない。 主を信じなさい。そうすれば、あなたは決して惑わされることなく、恥じることもない。」(教会への証 5 巻 427)

b. クリスチャンの管理者のタラントは、どのように増し加わりますか (コリント第二 9:6)。

「タラントは、活用すれば、増加する。成功は、偶然や幸運の結果ではない。それは、神ご自身の摂理の結果で、信仰と思慮深さ、徳と不撓 (ふとう) 不屈の努力の結果である。神は、わたしたちが、すべてのたまものを活用することを望んでおられる。そして、今持っているたまものを活用すれば、さらに大きなたまものを用いるようになる。」(キリストの実物教訓 329)

「青年のうちのある者は、勤勉で辛抱強かった。そして、今や彼らは頭角を表し、神のみ事業において重要な地位を占めている。わたしたちはときどき人が、このような青年たちのタラントや能力について、神が彼らに特別な賜物をお与えになったかのように言うのを聞くが、それは間違いである。わたしたちを強くするのは、与えられたタラントを用いることによってである。主のみわざに携わるのにふさわしい者となれるはずであるのに、神が自分たちに与えて下さった能力を向上させない者が多くいる。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1880 年 3 月 25 日)

3. あなたのタラントを発達させる (II)

a. 自分たちには最も小さなタラントしかないと感じる人々は、何を理解すべきですか (コリント第一 7:20–24)。

「多くの青年たちは、何か大きな働きをするための能力がないからといって不平を鳴らし、彼らが何かすばらしいことができるタラントを欲しがる。しかし、彼らは自分たちの時間を、むなしいことに費やしながら、人生に失敗しているのである。彼らは自分たちの足が置かれていた人生の道のりにある、愛の行為をなすことによって生かすことができたはずの好機を見逃している。」(ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1893 年 3 月 2 日)

b. 主は、わたしたちのタラントをどのように評価なさいますか (コリント第二 5:10; ルカ 12:47, 48)。

「主がしもべたちと計算されるときにはすべてのタラントがどれだけ増したかが厳密に調べられる。行なった働きが、しもべたちの品性をあらわすのである。」(キリストの実物教訓 337)

「神の勧告のうちにいたならば、魂を救うための感化力を働かせることのできるはずでありながら、利己心、怠惰によって、あるいはキリストの十字架を恥じるがゆえに、自分たちの義務を果たさなかった人々は、自分自身の魂を失うばかりではなく、あわれな罪人の血が自分たちの衣につけられることであろう。そのような人々は、自分たちが神に献身していたならばできたはずの、その不忠実さのゆえにしなかった善に対して会計報告を出すように要求される。本当に贖いの愛の甘さを味わった人々は、自分の交わるすべての人が、救いの計画を知るようになるまでは、安んじることができない。」(教会への証 1 巻 511 (分冊 3 59, 60))

「わたしたちのできることから少しでも足りなければ、それに対する責任を負わなければならない。主は、わたしたちにどんな奉仕ができるかを正確にお計りになる。活用した能力と同様に、活用しなかった能力も調べられる。わたしたちの才能を正しく用いたならば、到達し得たはずのことに対して、神はその責任を問われる。わたしたちは当然なし得たにもかかわらず、才能を神の栄えのために用いなかったために、なし得なかったことを、さばかれる。自分の魂を失わないまでも、用いなかった才能の結果がどんなものであるかを永遠にわたって知らされることであろう。なぜなら、得るべきであって得なかったところのすべての知識と才能とは、永遠の損失となるからである。」(キリストの実物教訓 339, 340)

4. 各個人の責任

a. クリスチャンの管理者が培うべきタラントをいくつか挙げなさい。またそれはなぜですか（ヨハネ第一 2:14; ローマ 15:1）

「特別の聖霊のたまものだけが、この〔マタイ 25:13–32 の〕たとえの中で表示されているタラントではない。タラントというのは、先天的であろうが、後天的であろうが、一般的のものであろうと霊的のものであろうと、すべてのたまものと才能のことである。これを、すべて、キリストのための奉仕に用いなければならない。わたしたちは、キリストの弟子になったのであるから、自分自身と持っているすべてのものをささげて、キリストに従うのである。すると、キリストは、これらのたまものを清め高尚にして、再びわたしたちに返してくださるから、わたしたちは、同胞を祝福するためにそれを用いて、神の栄光をあらわすようになるのである。」（キリストの実物教訓 302, 303）

「話すという能力は、つとめて修得しなければならないタラントである。わたしたちが神から受けたあらゆるたまものの中で、これほど大きな祝福をもたらす能力は、ほかにない。わたしたちは、声を使って、人を説得したり、信服させたり、神に祈ったり、賛美したりする。また、声を用いて、あがない主の愛について、人びとに語るのである。であるから、声を最も効果的に善のために用いるよう訓練することが、非常にたいせつである。」（同上 309, 310）

「わたしたちの時は、神に属するものである。一瞬、一瞬が神のものである。そして、わたしたちには、その時を神の栄光のために活用するように、きわめて厳粛な責任が負わせられている。神がお与えになったたまもののなかで、わたしたちの時間ほどに厳密な説明が求められるものは他にないのである。

時の貴重なことは、実に想像以上である。キリストは、一分一秒を貴重なものとみなされたが、わたしたちもそう思わなければならない。人の一生は、むだにすごすには、あまりにも短い。永遠のために備えをすべき恵みの日は、ほんのわずかしかない。」（同上 317, 318）

「親は、時の価値とその用いかたを子供たちに教えなければならない。神の栄えをあらわし、人類を祝福するために何事かをするということは、努力に値するものであることを教えなければならない。子供たちは、幼いながらも、神のために伝道者となることができる。」（同上 321）

「神は、また人びとに財産をおゆだねになる。神は、富を得る力を人びとにお与えになる。神は天からの露と降りそそぐ雨によって地をうるおされる。また太陽を照らして、植物をはえさせ、繁茂させ、実を結ばせておられる。そして、神は、神のものを神に返すように人びとにお求めになる。」（同上 327）

「金銭というものは、自分自身を高めたり、あがめたりするために与えられているのではない。忠実な家つかさとして、神を高め、あがめるために金銭を用いなければならない。自分の財産の一部だけが神のものだと考えている人がいる。彼らは、宗教的慈善的用途のために財産の一部分をとり分けると、残りは全部自分自身のもので、適当に用いてもよいのだと考える。しかしこの点において彼らはまちがっている。私たちの所有しているものは全部主のもので、その使い方について、わたしたちは主に対して責任がある。一円一円の使い方に、わたしたちは神を第一に愛しているか、隣人を自分と同じように愛しているかどうかがあらわれる。」（青年への使命 309）

木曜日 *8月18日*

5.　　王国のための管理職

a.　わたしたちのさまざまなすべてのタラントの中で、何が活力の中心となるべきですか（ピリピ 3:7–14）。

「あなたは世界に、御使たちに、そして人々に見世物になっている。……あなたが何かを主人のために蓄え、周囲の人々にとって祝福となることができるようにと神が賜ったタラントを用いて、黄金の瞬間を最大限に生かしなさい。あなたがイエス・キリストに忠実で真実であるがゆえに、天使たちがあなたを喜びをもって見ることができるようにしなさい。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1894 年 7 月 12 日）

「あなたを神に承認され、社会の祝福となる男女にするのは、自分の機会を賢明に生かし、神が与えて下さったタラントを培うことによる。あなたの標準を高くし、不屈の精力をもってあなたのタラントと機会を最大限に生かし、目標を目指して押し進みなさい。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育の基礎 87）

「あなたは自らを主にお捧げするであろうか。あなたはこのお方があなたに任された働きに携わる準備ができているであろうか。イエスはご自分の弟子たちに言われた、『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ』（マルコ 16:15）。この命令を目の前にして、あなたは自分の時と自分の精力を、神の勧告に従うよりも、傾向が欲するがままに私用に供するのであろうか。」（神のむすこ娘たち 273）

「この世界で、この終わりの時代に、人々は何の力が自分たちの心に影響を与え、その行動を支配するかを示すようになる。もし神聖な真理の力であれば、それは良いわざへと導く。……

若い者も年配者も、神はあなたがたを試しておられる。あなたは自分自身の永遠の運命を決定しつつある。」（主は来られる 43）

金曜日 *8月19日*

個人的な復習問題

1. **特定のタラントを、どのようにして主人のために最善に培うことができますか。**
2. **教会はわたしたちのタラントを注意深く管理することからどのような益を得ますか。**
3. **わたしは個人的にわたしに委ねられたこれらのタラントについて、何をもっと真剣に考慮すべきですか。**
4. **わたしは自分のタラントのための神のみ前の責任について、何を自覚しなければなりませんか。**
5. **年や能力に関係なく、すべてのクリスチャンの責任を述べなさい。**

愛によって動機づけられる

暗唱聖句：「たといまた、わたしに預言をする力があり、あらゆる奥義とあらゆる知識とに通じていても、また、山を移すほどの強い信仰があっても、もし愛がなければ、わたしは無に等しい。」（コリント人への第一の手紙 13:2）

「キリストのような愛は、天から生まれたものであること、またそれなしには、他のどんな資質も無価値であることを覚えなさい。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1904 年 7 月 21 日）

推奨文献：　管理職への勧告 20–23.

日曜日　*8 月 21 日*

1.　今日のための章

a.　クリスチャンの管理者は、コリント第一 13 章を祈りつつ研究し瞑想するとき、どのように影響されますか（コリント第二 3:18; ヨハネ第一 4:19–21）。

「主はわたしに、コリント前書の第 13 章にご自分の民の注意を呼びかけることを望んでおられる。この章を毎日読み、そこから慰めと力を得なさい。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1904 年 7 月 21 日）

「使徒パウロはコリント第一の 13 章に真のキリストのような愛を定義している。……この章は、神を愛し、神の戒めを守るすべての人の従順の表現である。それは、すべての真の信徒の生活において行動にいたる。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]6 巻 1091）

b.　この終わりの時代において現代の真理を公言し、求めるすべての人々によって、何が深く考慮されるべきですか（ペテロ第二 1:10–12）。

「わたしたちは自分の言葉や行動がみな神の委ねてくださった聖なる真理に調和していることに、どれほど注意深くあるべきことか！世の人々はわたしたちの信仰が、わたしたちの品性や生活に何をなしているかを知るために、わたしたちを見ている。彼らはそれがわたしたちの心に聖化させる効果を持っているか、またわたしたちがキリストに似たすがたに変えられていっているかを知ろうとして、見張っている。彼らはわたしたちの生活における一つ一つの欠点と、わたしたちの行動における一つ一つの矛盾を見つけようと待ち構えている。彼らにわたしたちの信仰を非難させる機会を与えないようにしようではないか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 5 日）

2. 利己心に打ち勝つ

a. なぜ真理の知識は―それを表現する磨かれた能力と共に―キリストに栄光を帰するのに不十分なのですか（コリント第一 13:1）。

「もし真理の知識が魂の中に何の美しさも産み出さないならば、もしそれが神ご自身のみかたちに従って、人を制し、やわらげ、再創造しないならば、それを受ける人にとって何の益もない。それはやかましい鐘や騒がしい鐃鉢のようなものである。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]4 巻 1181）

「神にとって重要なのは、言葉の巧みな人や鋭い知性を持った人ではない。物を言う感化力を持つのは、真剣な目的、深い敬神、真理の愛、神への畏れである。偽りのない、信仰とへりくだった信頼に満ちた心からの証は、どもりがちな言葉によって語られたとしても、神には金のように尊いものとしてみなされる。その一方、大きなタラントを委ねられてはいるが、正直さや、堅固な目的、純潔、無私の心に欠ける人の機知にとんだ話や雄弁な話術は、やかましい鐘や騒がしい鐃鉢のようである。彼は機知に富んだことを言ったり、あるいは楽しませるような逸話を物語ったり、感情をかきたてたりするかもしれない。しかし、イエスの精神がそこにないのである。これらのすべてのものは、聖化されていない心を喜ばせるかもしれないが、神はご自分のみ手の内に言葉と精神と誠実さと献身を測る秤を持っておられて、それがまったく虚無よりも軽いと宣言なさる。」（同上 6 巻 1091）

b. 何が、神の祝福を自分中心に用いることに対する警告ですか（マラキ 2:2; ヤコブ 2:15, 16）。

「非常に広範囲にわたりふけっている罪、そしてわたしたちを神から離れさせ、あまりにも伝染性の霊的な混乱を生じさせている罪は、利己心である。自己否定による以外は、主に戻ることはできない。わたしたち自身では、何をすることもできない。しかし、神がわたしたちを強めてくださることを通して、わたしたちは他の人々に善をなすために生き、そのようにすることによって利己心という悪を遠ざけることができる。わたしたちは有益な無我の生活において神にすべてをお捧げしたいとの自分の願いを表すために、異郷の地へ出て行く必要はない。わたしたちは家庭の輪の中で、教会の中で、交わりを持っている人々や共に仕事をしている人々の間で、これをなすべきである。生活上のありふれた歩みのただ中こそ、自己が否定され、征服されているべき場所である。」（教会への証 2 巻 132）

3. クリスチャン管理者のための罠

a. 霊的な教理、正確な預言の理解、そして妥協しない勇気が重要であるにもかかわらず、何が現代の真理を信じるすべての人に対する警告ですか（コリント第一13:2, 3）。

「口先で、どんなに立派なことを言っても、もし心の中に、神と同胞に対する愛が満ちていなければ、キリストの真の弟子ではない。大いなる信仰を持ち、奇跡を行うほどの力があっても、もし愛がなければ、その信仰は価値がない。また、大いなる施しが行われるかもしれない。しかし、それが真の愛以外の動機によって行われたとするならば、自分の全財産を人に施しても、その行為によって神の恵みにあずかることはできない。また、熱心さのあまり、殉教の死をとげることさえするかもしれない。しかし、もしそれが愛の動機によるものでなければ、神は彼を、惑わされた熱狂家、あるいは野心的偽善者とみなされることであろう。」（患難から栄光へ上巻 343）

b. 三重のメッセージを最も熱心に信奉する人々でさえ、そのような危険に陥ることがありえますか（黙示録 3:17; イザヤ 65:5）。

「律法的な宗教は、この時代のために非常に正しい宗教であると考えられてきた。しかし、それは間違いである。パリサイ人へのキリストの譴責が心から自分たちのはじめの愛を失ってしまった人々に当てはまる。冷たく、律法的な宗教は、決して魂をキリストに導くことはない。なぜなら、それは愛のない、キリストのない宗教だからである。断食と祈りが自己義認的な精神で行われるとき、それらは神にとって忌まわしいものである。礼拝のための厳粛な集会、一連のきまった宗教的儀式、外面的なへりくだり、強いられた犠牲―これらはみな世に対してこれらのことを行う人々は自分自身を正しいと思っているという証を宣布する。これらのことは、厳格な義務を遵守する人々に注目を集め、この人は天国に行く資格がある、と言うのである。しかし、これはみな欺瞞である。行いがわたしたちに天に入る資格を買うことはない。ひとりの捧げられた大犠牲が、信じるすべての人のために十分なのである。……神を見上げなさい、人を見てはならない。神は喜んであなたの弱さを忍耐強く耐え忍び、それらを許し、いやしてくださるあなたの天父であられる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1894 年 3 月 20 日）

「愛の欠如ほど、教会の影響力を弱めるものはない。. . . . もし、おおかみとして現されている敵の反対にあうなら、わたしたちは同じ精神を自分たちの中にあらわさないように気をつけよう。」(同上 1888 年 6 月 5 日)

4.　純粋な泉から汲む

a.　どのような種類の奉仕は、神に受け入れられないのですか。またそれはなぜですか (エレミヤ 2:13; イザヤ 58:4, 5)。わたしたちはこの問題を、どのように克服することができますか (イザヤ 58:6 − 8)。

「目を覚まして祈りなさい。この方法によってのみ、あなたは自分の全存在を主の働きに投じることができる。自己は背後におかれなければならない。自己を目立たせる人々は、まもなく自分たちにとって第二の性質となる教育を得ている。そして、彼らはまもなくイエスを掲げる代わりに自分自身を掲げること、すなわち他の人々を活気づけるために生きた水が流れることのできる水路となる代わりに、自分の周りの人々の同情と愛情を吸収することを自覚しなくなる。これはわたしたちの十字架につけられた主への忠誠ではない。」(健康への勧告 560)

「日常の小さな取引において日々自己に死ぬこと、これがわたしたちを勝利者にするのである。わたしたちは他の人々に善をなそうとの願いのうちに自己を忘れるべきである。」(教会への証 2 巻 132)

b.　真の宗教の結果を述べなさい (ヤコブ 1:27)。

c.　わたしたちはどのようにこれらの生きた実を結ぶのですか (ヨハネ 7:37, 38)。

「イエスの純粋な宗教は、慈愛と愛と自己犠牲という小川が流れ出る泉である。

クリスチャンとは、キリストのような男、キリストのような女であり、すなわち神の奉仕に活発で、集会に出席し、その出席によって他の人々をも励ます者である。宗教は行いから成り立っているのではないが、宗教は働くのである。それは不活動ではない。

多くの人々は、宗教にはそれを持つ人々を狭く窮屈にする傾向があると感じているようであるが、本物の宗教には狭めるような感化力はない。機能を妨げ、思いを狭めるのは宗教の欠如である。人が狭量なとき、それは彼が神の恵み、天から油を注がれることを必要としている証拠である。なぜなら、クリスチャンとは、全地の主の道を守り、このお方のみ旨を人々にあらわすことができるように、主、すなわち万軍の主が用いて働くことのできる者だからである。」(SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]7 巻 935)

木曜日 *8月25日*

5.　　本物の管理職のための力

a.　クリスチャンの発達のはしごの最上段は何ですか（ペテロ第二 1:4–7）。わたしたちはクリスチャンのすべての資質を培うことを求める際に、何を悟らなければなりませんか。

「わたしたちは信仰に徳を加え、徳に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなければならない。あなたはもう一つの恵みを培う前に、一つの恵みを完成するまで待たなければならないと思うべきではない。否、それらは、絶えず愛という泉から養われて、共に成長するのである。あなたの生きる一日一日、キリストのご品性のうちに完全にあらわされた祝福の特質を完成させることができる。そしてあなたがこうするとき、自分の家庭に光、愛、平安、そして喜びをもたらすのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 7 月 29 日）

b.　わたしたちがどのように新しい霊的な命と正しい動機が吹き込まれるようになるかを説明しなさい（エゼキエル 37:1–14; マルコ 2:22）。

「『神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、あなたは砕けた悔いた心をかろしめられません』（詩篇 51:17）。人は、最高の意味において、イエスを信じる者となることができる前に、自分自身をむなしくしなければならない。自我が放棄されるとき、主はその人を新しい人間にすることがおできになる。新しい袋は新しいぶどう酒を入れることができる。キリストの愛は新しいいのちをもって信者を生かす。われわれの信仰の創始者でありまた完成者であるおかたを見つめる人のうちに、キリストの品性があらわされるのである。」（各時代の希望上巻 358, 359）

金曜日 *8月26日*

個人的な復習問題

1. **なぜクリスチャンの管理者は日々コリント第一 13 章を研究すべきなのですか。**
2. **クリスチャンの管理者は、どのような方法において、やかましい鐘や騒がしい鐃鈸となる危険性がありますか。**
3. **なぜキリストを公言する殉教者が失われるかもしれないのですか。**
4. **わたしたちの態度と行いは、いつ神に喜ばれるものとなりますか。**
5. **愛はどのように、ペテロ第二 1:4–7 にある他の資質と共に働きますか。**

安息日 2022 年 9 月 3 日

第一安息日献金
セントルシアの礼拝堂と本部のために

S セントルシアは東カリブ海にある西インド諸島にある主権を持つ島で、セントヴィンセントの北／北東、バルバドの北西、マルチニケの南にあり、617 平方キロメートルの土地を有しています。人口は 183,000 人以上です。

この島はあるときは英国の統治下にあり、別のときにはフランスの統治下にありましたが、1814 年に英国が最終的な統治権を得ました。1979 年 2 月 22 日に、セントルシアは独立州、そしてイギリス連邦の一員となりました。今日、ここの経済は観光、製造、バナナ栽培、また銀行業を中心としています。

公用語は英語です。セントルシアのフランスクレオール語は、口語でパトワと呼ばれていますが、これも人口のおよそ 95%が話します。

およそ人口の 61.5%がローマカトリック、25.5%がプロテスタント（セブンスデー・アドベンチスト 10.4%、ペンテコステ教会 8.9%、バプテスト教会 2.2%、アングリカン教会 1.6%、神の教会 1.5%、その他 0.9%）です。人口のおよそ 1.9%がラスタファリ運動を支持しています。他の宗教には、エホバの証人、イスラム教、バハーイ信仰、ユダヤ教、仏教が含まれています。

1994 年に、リバイバルと改革を求める魂の熱心な祈りの答えとして、安息日聖書教科がこの島に届けられ、続いて SDARM からの訪問がありました。

2000 年に、貴重な 5 人の魂がバプテスマを受けました。敵はさまざまな方法で働きを破壊しようとしてきましたが、主が勝利なさいました。2017 年に、牧師とその家族がここに派遣され、ミッションを支え発展させています。今、わたしたちはここでの主の働きを正しくあらわす礼拝堂と本部の必要性を認めます。

「民として、わたしたちは自己否定と節約を実践しなければならない。…時は短い。そして明確な必要を補うために用いる必要のある一ドル一ドルは、神への感謝献金として捧げられるべきではない。それは主のものであり、主はわたしに、礼拝の家と校舎がこの国と、海の島々を通じて建てられなければならない。」（牧師伝道 244, 245）

これこそ、わたしたちがこの高尚なみ事業において皆さんに支援をお願いする理由です。あらかじめ心からお礼申し上げます。

セントルシアからの兄弟姉妹より

純粋な動機のみ！

暗唱聖句：「不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。」（コリント人への第一の手紙 13:5）

「パラダイスへの道は、自己称揚の道ではなく、悔い改め、告白、へりくだりの道であり、信仰と従順の道である。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 12 月 23 日）

推奨文献：　教会への証 2 巻 50–60

日曜日　*8 月 28 日*

1.　わたしたちのふるまいを見張る

a.　全般的なふるまいにかかわる愛の特徴の一つをあげなさい（コリント第一 13:5（上句））。

b.　どのような不適当なふるまいの例を、警告として受け止めるべきですか（ガラテヤ 2:11–13; ヤコブ 2:1–4, 8, 9）。

c.　クリスチャンの管理者は、他にどのようなよくある種類の不適当なふるまいに対して警告を受けるべきですか（箴言 14:29; 18:23（下句））。

「自制心がないまま、ある種類の人々ができあがってしまった。彼らは気質や舌にくつわがはめられていない。これらのうちのある人々はキリストに従う者だと主張するが、そうではない。イエスは彼らにそのような模範は示されなかった。彼らが救い主の柔和と心の低さを持つとき、彼らは生来の心の衝動を行動に移すことはない。なぜなら、それはサタンのものだからである。ある人々は神経質で、挑発されて言葉や精神において自制を失うと、酒に酩酊（めいてい）する人のように怒りに毒される。彼らは理性に従わず、容易に思いとどまらせることも、説得することもできない。彼らは正気ではない。そのときはサタンが完全に支配権を握っている。こうした怒りの現れの一つ一つは、神経組織と道徳力を弱め、怒りや次の挑発に抑制するのを困難にする。この種類の人々にはたった一つの治療法しかない―あらゆる状況下における断固とした自制である。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1886 年 11 月 10 日）

2. 愛に満ちた分別

a. わたしたちは特に自分を不正に挑発する人々に対してキリストのような態度を発達させるよう、どのように訓戒されていますか（ヤコブ 1:19–21; 箴言 15:1; 19:11）。

「〔キリストは〕不正に告発されたが、このお方の口はご自分を義認するために開かれなかった。今、なんと多くの人々が、自分たちが悪くないことを責められるときに、我慢するにもほどがあると感じて、堪忍袋の緒を切らし、聖霊を悲しませるような言葉を語ることであろうか。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]4 巻 1148）

「もし、誇りと利己心が取り除かれれば、たいていの問題は、五分間で解決する。自己を正当化するために多くの時間が用いられることを、天使たちは悲しみ、神は不快に思われる。」（初代文集 223）

b. クリスチャンの管理者は、愛に満ちた分別をどのように表しますか（使徒行伝 9:36–39）。

「ルダの近くのヨッパにドルカスという名前の婦人が住んでいた。彼女はよい働きをして、人々から非常に愛されていた。彼女はイエスのりっぱな弟子で、かずかずの親切なことを行いながら暮らしていた。また、だれに心地よい衣服が必要であるか、だれに同情が必要であるかを知っていて、貧しい者や悲しむ者のために惜しみなく尽くしていた。彼女の器用な手先はその舌よりも活発に働いた。」（患難から栄光へ上巻 140）

「説教は、魂の救いのためになされるべき働きにおいて小さい部分である。神の御霊が罪人に真理を説得し、彼らを教会の腕の中におかれる。牧師たちは自分の役割を果たすかもしれないが、教会がなすべき働きを果たすことは決してできない。神はご自分の教会が信仰と経験において若い人々を養うように要求しておられる。彼らのところへ、噂話をするためではなく、祈って彼らに『銀の彫り物に金のりんごをはめたよう』な言葉を語るために行くべきである（箴言 25:11）。……

神のための伝道者となり、助けを必要としている人々を知るようになることは、神の子らの義務である。もしだれかが誘惑の下でよろめいていたら、彼の事情を注意して取り上げ、賢明に対応すべきである。なぜなら、彼の永遠の運命がかかっているからである。そして、その人のために労している人々の言葉と行為は、命から命へ至る香りとも、死から死へ至る香りともなり得るのである。」（教会への証 4 巻 69）

3. 無我の愛 :「自己」に対する治療法

a. いつ、他の人々への愛がほとんど見られなくなりますか。また、どのようにしてこの問題を克服することができますか（マタイ 24:12; 黙示録 2:2–4; ヘブル 12:2–4）。

「神の愛が教会の中で衰えてきた。そして、その結果、自己の愛が生じて、新たに活動している。神への愛の欠如に伴って、兄弟への愛の欠如がおとずれた。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1894 年 3 月 20 日）

「戦いや悩みの嵐が吹きすさぶこの命をキリストとのつながりのうちに入れなさい。そのとき、自己がやかましく最上位を求めて叫ぶことはなくなる。」（SDA バイブル・コメンタリ [E.G. ホワイト・コメント]3 巻 1161）

「カルバリーの光景をいつも生き生きと記憶している魂のうちには、高慢と自己崇拝の思いは栄えることができない。」（各時代の希望上巻 142）

b. クリスチャンの管理職をこの世で輝かせる最大の理由は何ですか（コリント第一 10:24）。

「神の国の原則である無我の精神は、サタンの憎む原則で、サタンはそういう原則はあり得ないと否定する。大争闘が始まって以来、サタンは神の行為の原則が利己的であることを証拠立てようと努力してきた。彼はまた神に仕えるすべての人に同様な態度で接している。このサタンの主張を反駁することがキリストの働きであり、キリストの名を持つすべての者の働きである。

キリストが人の姿をとってこの世においでになったのは、ご自身の一生を通して、この無我の精神を実際に示すためであった。この原則を受け入れるすべての者は、キリストと共なる働き人となって、これを日常生活に実践しなければならない。正しいことはあくまでも正しいとし、どんな苦難や犠牲を払っても真実をつらぬくことである。『これが主のしもべらの受ける嗣業であり、また彼らがわたしから受ける義である』（イザヤ 54:17）と主は言われるとある。」（教育 173, 174）

「天では、だれ一人自己のことを考えたり、自分自身の楽しみを求めたりはしない。かえってすべての者が、純粋な本物の愛から、自分の周りにいる天の存在者たちの幸福を求めるのである。もしわたしたちが新しくされた地で天の社会を楽しみたいと望むならば、ここで天の原則によって統治されなければならない。」（教会への証 2 巻 132, 133）

4. 何が最も重要であるかを優先付ける

a. 自分たちの優先事項を選ぶときに、クリスチャンの管理職は、何を考慮すべきですか（ヨハネ第一 2:15–17）。

「もし、不要な物のために無駄に用いられた金銭がすべて、神の金庫に納められるならば、わたしたちは男女や青年がイエスに献身し、キリストと御使たちに協力して自分の役割を果たしているのを見るのである。神の最も豊かな祝福が、わたしたちの教会にもたらされ、多くの魂が真理に改心するはずである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 12 月 23 日）

「神のみ前にすべての人の事情が検査されるために持ち出されるときに、彼らは何を公言したかではなく、彼らは何をしたか、と問われるのである。彼らはみ言葉を行う者であっただろうか。彼らは自分自身のために生きてきたであろうか、あるいは慈善の働きにおいて、親切と愛の働きにおいて、他の人々を自分よりも優先させ、他の人々の祝福となることができるように自己を否定しながら、働いてきたであろうか。……キリストはあなたの目立った利己的な愛と、他の人々の苦悩や必要に対する無関心を悲しみ、傷ついておられる。」（教会への証 3 巻 525）

「もしも、キリストの弟子であると公言する者がみな、真に清められるならば、彼らの財産は、無用で有害な道楽のために費やされるかわりに、主の金庫におさめられ、キリスト者は、節制と克己と自己犠牲の模範となるであろう。そのとき彼らは、世の光となるのである。」（各時代の大争闘下巻 205）

b. 終わりの時代の管理者として、わたしたちはどのような態度を避けるべきであり、またどのような態度をとるべきでしょうか（イザヤ 58:2–4, 10–12; 箴言 21:3）。

「わたしたちの働きにおいて、内なる邪悪さと結びついた敬神の高らかな公言と多くの外面的な厳密さを見るようになるであろう。イザヤ 58 章の中であらわされている民は主が自分たちの奉仕を見過ごしておられると不平を言っている。この不平は、恵みによって征服されていない、真理に対する反逆心の表現である。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]4 巻 1148, 1149）

「多くの人々は、自分のもっていない徳のために賞賛を受けている。心を探られるお方は、動機を量られ、しばしば人が大いに称賛する行いが、このお方によっては利己心と卑しい偽善から生じたものとして記録されている。わたしたちの生涯の一つ一つの行為は、すぐれた称賛に値するものでも、譴責に価するものでも、心を探るお方によって、それを生じさせた動機に従って、裁かれるのである。」（福音宣伝者 275）

5. 自己否定のうちにキリストに従う

a. どの原則が、本物のクリスチャン奉仕の基礎ですか（使徒行伝 20:35）。

「わたしたちの諸都市においてなされるべき働き―すべての場所でなされるべき働きがある。神は人々を鋤から、羊の囲いから、ぶどう畑から連れてきて、もっと高い給料をもらわなければならないと思う人々の場所に置かれるであろう。高い給料をつかむ人々は、自分たちの得る金銭のうちに、受けられる報いを全部見出すことになる。そのような人々が、滅びつつある魂の救いのために重荷を感じることを期待できない。主はそのような人々をご自分の働きに用いることはおできにならない。彼らが自分たちの心から利己心を追い払うまでは、彼らの努力は価値がない。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1904 年 12 月 15 日）

「天使たちは、自分がえらくなろうとする者とではなく、魂を救おうとする者と協力することができる。」（各時代の希望中巻 213）

b. 何がクリスチャンの管理職に、奉仕のための純粋で新鮮な動機を吹き込むべきですか（コリント第二 8:8, 9）。

「イエスは栄光のうちにあるご自分の住まいを後にして、ご自分の神性に人性をまとわれ、そして罪ののろいによって損なわれて汚れた世界に来られた。このお方はご自分の天の住まいに残られ、天使たちの崇敬を受けていることもおできになった。しかし、このお方は失われた者、滅びつつある者をたずねて、救うために地上に来られた。『すなわち、主は……あなたがたのために貧しくなられた。あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである』（コリント第二 8:9）。天の大君であられるお方、御父と一つであられるお方は、人が滅びることなく、永遠の命を持つことができるように、ご自分を否定され、可能な限りの犠牲を払われた。キリストはご自分を喜ばせるために生きられなかった。もしこのお方がご自分を喜ばせられたなら、わたしたちは今日存在しているであろうか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 12 月 23 日）

金曜日 9月2日

個人的な復習問題

1. **わたしたちはどのように不適当にふるまう罪を犯すかもしれませんか。**
2. **わたしたちはキリストとキリストに従う人々から、愛について何を学ぶことができますか。**
3. **キリストを愛する生き生きとした愛は、どのようにわたしたちの内に表わされるべきですか。**
4. **わたしたちはなぜいつも自分自身の優先事項と動機を吟味しなければなりませんか。**
5. **わたしたちはもっと神の働きを熱心に促進するために、何をなすべきですか。**

実務的な管理職

暗唱聖句:「悪しき者は誇り顔をして、神を求めない。その思いに、すべて『神はない』という。(詩篇 10:4)

「あなたの精神があらゆる世俗、あらゆる聖でないこと、あらゆる愛のない思想から清められるようにしなさい。あなたの言葉を清く、聖化されたものとし、交わるすべての人々を生き生きとさせ、活気づけるものとしなさい。いらだってはならない。」(わたしたちの高い召し 174)

推奨文献:　教会への証 2 巻 707–709

日曜日　*9月4日*

1.　高尚な資質を発達させる

a.　すべての人に対するわたしたちの態度を何が特徴づけるべきですか。そして何が一貫した態度を維持する助けとなりますか(テサロニケ第一 5:14, 15, 23; コリント第一 9:25)。

b.　クリスチャン管理者の生涯においてどのように進歩が見られますか。またどのような手段によってそれを得ることができますか(コロサイ 3:8–10, 13; ヤコブ 3:17, 18)。

「あなたに大変だと思われるささいな困難があるとき、親愛なる救い主イエスを思いなさい。このお方が罪深い死すべき人間を救うために、どのように苦しみ、耐え忍ばれたかを思いなさい。」(原稿ﾘﾘｰｽ 3 巻 124)

「あなたは誤解されることであろう。あなたが存在していると考える悪を神にお任せしなさい。温順な者となり、いらだってはならない。あなたが何かを聞いたからと言って、怒った言葉を口にしてはならない。これはあなたの感化力を傷つける。神の恵みがあなたを助けて忍耐を持たせてくださるように。」(同上 19 巻 149)

「わたしたちは愛を大事にしなければならないが、それは誤って愛と呼ばれているもの、すなわち罪を愛し、罪人を大事にするように導くものではなく、聖書の愛と聖書の知恵、すなわち第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ちたものに導く愛である。」(教会への証 4 巻 558)

2. 家庭と社会の管理者

a. 自分の子供たちを訓練することにおいて、どの原則が組み合わされていなければなりませんか（詩篇 85:10）。

「不従順と反抗は罰せられなければならないが、罰はキリストの精神のうちに与えられるべきことを覚えていなさい。従順を要求しなさい。しかし、決して怒りの言葉の嵐をもってではなく、確固として親切にそうしなさい。そしてあなたの子供を律する必要があるときは、あなたの天父に対するあなた自身の関係を覚えていなさい。あなたはこのお方のみ前に完全に歩んできたであろうか。あなたは強情で不従順ではないであろうか。あなたは絶えずこのお方を悲しませてきたのではないであろうか。しかし、このお方はあなたを怒りのうちに取り扱われたであろうか。また、あなたの子供が悪への傾向を受けたのは、あなたからであることを覚えていなさい。どれほどしばしば、あなたが大きくなった子供のようにふるまったかを覚えていなさい。あなたのクリスチャン経験の年月があったにもかかわらず、すなわち自己訓練の機会が多くあったにもかかわらず、どれほどたやすくいらだち、怒ったことであろう。そうであれば、あなたの子供たちにはあなたほど自制を自分のものとする機会がなかったことを覚えて、彼らを優しく扱いなさい。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1902年7月8日）

b. 行動するときのどのような方法が、社会における伝道努力に、信頼性と命を与えますか（ルカ 6:28–30）。

「不信者とのあなたのすべての交わりにおいて、あなたの信仰を誤解したり、あなたの擁護する真理のみ事業を批判したりする機会を与えないように気をつけなさい。多くの人々は自分自身の一連の行動によって道をふさいでしまう。彼らの側になんらかの無分別がある。彼らはたやすくいらだつ。交渉や、他の何か現世の事柄において小さな困難が生じ、それによって彼らは、自分が隣人から誤解され、悪いことをされたと思うように導かれる。これらの事柄は、冷たさや悪感情を生じさせるままに許され、こうして真理が心に届いたかもしれない人々への戸が閉ざされる。わたしたちは決して現世の利益が魂へのわたしたちの愛を消すのを許すべきではない。兄弟がたよ、あらゆる状況において、親切で礼儀正しくありなさい。あなたの人に対する取り扱いにおいて、決して鋭く、批判的、あるいは不当に厳しくなってはならない。もし得るべき利点があるなら、それをあなたの隣人、すなわちあなたが自分自身のように愛することを要求されている人に与えなさい。イエスの忍耐と愛をもって隣人に親切を行う機会を見張っていなさい。わたしたちの公言する宗教が、魂の道を閉じて、凍らせ、わたしたちを同情心もない厳しい者にするのではないことが、隣人にわかるようにしなさい。」（同上 1888年5月22日）

3. 愛を働かせる

a. 自分たちの兄弟姉妹に対する苦々しい思いは、世の前におけるわたしたちの立場に、どのような影響を与えますか（ヘブル 12:15）。

「『わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう』（ヨハネ 13:34, 35）。これらの言葉は、人の言葉ではなく、わたしたちの贖い主の言葉である。そしてわたしたちがこのお方の下さった指示に従うことがどれほど重要なことであろう！愛の欠如ほど、教会の感化力を弱めるものは他にない。キリストは『わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。だから、へびのように賢く、はとのように素直であれ』と言われる（マタイ 10:16）。もし、わたしたちがおおかみとして表わされている敵からの反対に直面しなければならないなら、わたしたち自身の間で同じ精神を表わすことがないように注意しよう。敵は、もしわたしたちが互を愛する愛を持たないならば、兄弟の間で相違を生じさせることによって、自分の目的を果たし、教会を傷つけ、弱めることができることを知っている。彼は、彼らが邪推し、悪口を言い、訴え、責め、互いに憎むように導くことができる。この方法によって、神のみ事業は恥辱を受け、キリストのみ名は非難され、人の魂に言い知れぬ害をなすのである。」
（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 5 日）

b. わたしたちが日々、愛を培うとき、何が起こりますか（マタイ 12:35（上句）；コロサイ 3:12–15）。

「もしあなたが心のうちに愛を持っているならば、あなたの兄弟を最も聖なる信仰のうちに確立させ、築き上げようとすることであろう。もしあなたの友人や兄弟の品性に不利益な言葉が一言もらされたとしたら、この悪口を助長してはならない。それは敵の働きである。親切にその話し手に神のみ言葉はそのような種類の会話を禁じていることを思い出させなさい。わたしたちは心から魂の宮にキリストに宿っていただくために、それを汚すすべてのものを空にしなければならない。わたしたちの贖い主は、わたしたちがどのようにご自分を世に表わすことができるかを教えてくださった。もしわたしたちがこのお方の御霊を抱いているならば、もしわたしたちが他の人々にこのお方の愛を表しているならば、もしわたしたちが互いの利益を守っているならば、もしわたしたちが親切で、忍耐強く、寛容であるならば、世は、わたしたちの結ぶ実によって、わたしたちが神の子という証拠を持つようになる。不信者と世俗の人々に意識的な感化力を及ぼすことができるようにさせるのは、教会内の一致である。」（同上）

4. 典型的な問題

a. 教会の中でよく見られる悪を一つ述べなさい (レビ記 19:16（上旬）; エレミヤ 20:10; 箴言 16:17–20)。

「流れてくる噂話は、しばしば兄弟の間の一致の破壊者である。飛んでいるスキャンダルをつかまえるために、思いと耳を開いて見張っている者がいる。彼らは、それ自体は取るに足らないような小さな出来事をかき集め、それが、繰り返され、大げさにされて、ついに人が一言のために犯罪者とされてしまう。彼らのモットーは『報告しなさい、そうすればわたしたちも報告しましょう』であるかのようである。これらの告げ口屋たちは、驚くべき忠誠をもって、自分たちの行動がどれほど神に対して不快なものであるかをほとんど知らずに、悪魔の働きをしている。もし彼らがこの汚れた働きに捧げられる活力と熱心さの半分でも、自分自身の心を吟味するために費やすならば、彼らは自分たちの魂から不純を清めるためにしなくてはならない非常に多くのことを見出し、自分の兄弟たちを批判する時間も気質も持とうと思わなくなり、そして彼らはこの誘惑の力の下に陥ることがなくなる。思いの戸は『彼らが言っている』、『わたしは聞いた』という言葉に対して閉ざされるべきである。なぜ、わたしたちは嫉妬や邪推が、自分たちの心に入り込むのを許す代わりに、自分の兄弟たちのところへ行って、彼らの前に率直に、しかし親切に、あなたの聞いた彼らの品性や感化力にとって不利となる事柄を提示した後で、彼らと共に、彼らのために祈らないのであろうか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1884 年 6 月 3 日）

b. どうすれば噂話をする習慣を捨てることができますか (箴言 14:15; 25:9, 10)。

c. もし、兄弟姉妹が本当に何か悪いことをしているとわかったら、わたしたちの個人的な義務は何でしょうか (ガラテヤ 6:1; ヤコブ 5:19, 20)。

「あなたが他の人々のうちに過ちを見たなら、もしかすると、神の御目には、わたしたちが自分の兄弟のうちに非難する欠点よりも深刻な欠点があるかもしれないことを覚えていよう。その人の欠点を吹聴する代わりに、その人を祝福してくださるよう、そしてその人がその過ちを克服するために助けて下さるよう、求めなさい。キリストはこの精神と行動を承認なさり、信仰において弱い人に力と助けを与える知恵の言葉を語る道を開いて下さる。」（同上 1888 年 6 月 5 日）

木曜日 *9月8日*

5.　　自分の隣人を愛する

a.　わたしたちがいらだたず、悪を思わなくなるとき、どのような変化が見られますか（コリント第一 13:5; エペソ 4:23–25; 5:9–12）。

「愛という尊い植物を培う人は、精神において自己を否定し、挑発されても自制を手放さない。彼は悪い動機や悪意を他の人々のせいにすることはないが、キリストの弟子のだれかのうちに罪が発見されると、大いに心を痛める。」（教会への証 5 巻 123）

「愛はあやしまず、いつも他の人々の動機と行為に最も好ましい解釈を施す。愛は決して不必要に他の人に欠点をあばくことがない。それは好ましくない報告に熱心に耳を傾けることがない。かえって、中傷された人の良い資質を何か思い起こさせようと努めるのである。」（同上 169）

b.　世は、どのようにしてわたしたちの生涯において、日々キリストにあって成長していることを見ることができますか（テトス 2:7, 8, 11–14）。

「各々次のように自問しよう。わたしは愛という恵みを持っているであろうか。わたしは寛容であり、情け深いであろうか。タラント、学識、雄弁は、この天来の特質がなければ意味がなく、やかましい鐘や騒がしい銅鉢のようである。」（同上）

「わたしたちがキリストの苦い敵である人々を愛し、交わりを持つことができないうちは、わたしたちの主人を特徴づけた柔和の精神と愛―悪を思わず、いらだたない愛―を培うべきである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1884 年 6 月 3 日）

金曜日 *9月9日*

個人的な復習問題

1. **コロサイ 3:8–10, 13 に引用されている改革を述べなさい。**
2. **わたしたちは現世の事柄においてキリストをどのようにより良く表わすことができますか。**
3. **わたしたちは多くの教会に伝染しているよくある問題に、どのように勝利できますか。**
4. **「彼らが言っている」あるいは「わたしは聞いた」は、何が問題なのですか。**
5. **他の人々のための神の愛の管理職を表すことのできるいくつかの方法を述べなさい。**

信頼できる徳

暗唱聖句：「愛はいつまでも絶えることがない。」（コリント人への第一の手紙 13:8）

「われわれは、苦しんでいる魂のそばを通りすぎる時にはかならず、自分自身が神から慰めてもらった慰めをその魂に与えるようにつとめなければならない。」（各時代の希望中巻 309）

推奨文献：　教会への証 2 巻 133–136

日曜日　*9 月 11 日*

1.　力強い動機づけ

a.　使徒パウロの動機づけから、クリスチャンの管理者は何を学ぶことができますか（コリント第一 9:16–19; コリント第二 5:14, 15）。

b.　今度はわたしたちに動機を与えるために、どの訓告が与えられていますか（ペテロ第一 1:22, 23）。

「『だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である』（マタイ 7:12）。そのような道の実として、祝福された結果が現れるようになる。『あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう』（2 節）。ここに純粋な心をもって互に愛するように迫るべき強い動機がある。キリストがわたしたちの模範であられる。このお方は善をなすために出て行かれた。このお方は他の人々を祝福するために出て行かれた。愛はこのお方のすべての行動を麗しくし、高尚にした。わたしたちは他の人々が自分にしてほしいと望むことを、自分自身にするようにではなく、同じような状況にいたら、わたしたちが他の人々にしてほしいと望むことを、他の人々にするように命じられているのである。いつもわたしたちが量るそのはかりで、わたしたちも量られる。純粋な愛はその働きにおいて単純で、他のいかなる行動原則ともはっきり区別されている。感化力への愛着と他の人々から評価されたいという願いは、よく秩序立てられた生活を生み出し、しばしば落ち度のない会話を生む。自尊心が、わたしたちにあらゆる悪と見られることを避けるように導くかもしれない。利己的な心は惜しみない行動を行い、現代の真理を認め、外見上はへりくだりと愛情を表現しながら、なお動機は欺瞞的で、不純かもしれない。そのような心から流れ出る行動は命の香りと真の聖潔の実に欠けており、純粋な愛の原則に欠けている。愛は大事にされ、培われるべきである。なぜなら、その感化力は神聖なものだからである。」（教会への証 2 巻 136）

2. 愛という実

a. もっとも不快な環境の下で、パウロの無我の愛は、どのように実を結びましたか(ピリピ 1:12–14; 2:15–17)。

「宮廷は、パウロの説教によってではなく、彼の受けた束縛によって、キリスト教へと注目するようになった。彼は捕らわれの身でありながら、罪の奴隷となっていた多くの魂から束縛を断ち切ったのである。こればかりではなかった。『兄弟たちのうち多くの者は、わたしの入獄によって主にある確信を得、恐れることなく、ますます勇敢に、神の言を語るようになった』と彼は言明した。」(ピリピ 1:14)。

長い間の不正な留置の間中、パウロが示した忍耐と快活と勇気と信仰は、不断の説教となった。パウロの精神は、この世の精神と全く違っていて、地上の力よりももっと偉大な力が彼の中にとどまっていることを証した。そして彼の模範によって、クリスチャンたちは、みわざ—その公の活動からはパウロはすでに身を引いていたけれども—の唱道者として、より大きな働きへと駆り立てられた。このように使徒のなわめの影響力は大きかった。彼の力と有用さとが断ち切られたように見え、どうみても何もできそうもない時に、パウロはまったく自分が閉め出されたように見えた地からキリストのために、麦束を集めるように魂を集めたのである。」(患難から栄光へ下巻 156)

b. パウロの勇気によってわたしたちすべての者はどのように鼓舞され、力づけられることができますか (コリント第二 4:5–10; 11:24–28)。

「忍耐は勇気と同様、勝利するものである。試練の時に忍耐強いことは、事業をなすときの大胆さと同じほど、魂をキリストに導くことができる。死別や苦しみの時に忍耐と快活さをあらわし、平安で穏やかなゆるがない信仰をもって、死そのものにさえも向かうクリスチャンは、忠実に働いて長い一生になし遂げることができる以上のことを、福音のためにすることができる。神のしもべが活動的な働きから後退させられるとき、先を見通すことができないわれわれは、その不可解な摂理を歎くが、そうでなければ決してなされないような働きをなし遂げるために、神は摂理を計画されるのである。

キリストに従う者は、もはや神や真理のために、公然と積極的に働くことができなくなっても、もう奉仕することも報いをいただくこともできないなどと考えてはならない。キリストの真の証人は、決してその務めを解かれることはない。彼らが健康な時でも病の時でも、生きていようが死んでいようが、神はなお彼らをお用いになる。」(同上 157)

3. 勝利する愛

a. クリスチャンの管理職は、悪い言葉や態度に対して、どのように勝利を得ることができますか（ヤコブ 3:2, 10–12; エゼキエル 36:25, 26）。

「生活上の外面的な作法や礼儀をもっとも注意深く培っても、すべてのいらだちや、厳しい批判や、下品な言葉を締め出すのに、十分な力はない。本物の慈愛の精神が心のうちに宿らなければならない。愛はそれをもつ人に恵み、礼儀、ふるまいの上品さを与える。愛は顔に輝き、声を抑え、人全体を洗練し、高める。それはその人を神と調和させる。なぜなら、それは天来の特質だからである。」（教会への証 4 巻 559, 560）

b. どのような経験を通して、わたしたちは絶え間ない愛の力を学ぶことができますか (コリント第二 8:1–5; ヨハネ第一 5:1–4)。

「わたしたちが直面する反対は、多くの方法において、わたしたちの益であることが分かるであろう。もしそれによく耐えるなら、クリスチャンに忍耐することがなければ決して現れることのなかったはずの徳を発達させる。そして、信仰、忍耐、寛容、天来の思い、み摂理への信頼、そして過ちに陥っている人への本当の同情は、よく耐え忍んだ試練の結果である。これらは御霊の恵みであって、試練と不幸のただ中で、つぼみをつけ、花を咲かせ、実を結ぶ。柔和、謙遜、そして愛は、いつでもクリスチャンの木に成長する。もし言葉が、健全で正直な心に受け入れられるなら、強情な魂は抑制され、信仰が約束をつかんで、イエスに頼り、勝利を得るのである。『わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である』（ヨハネ第一 5:4）。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1892 年 6 月 28 日）

「予期しない失望が訪れることであろう。イエスはしばしば人々の心の頑なさに悲しまれたが、あなたにも同じような経験があるであろう。あなたの祈り、あなたの涙、あなたの嘆願は、反応を呼び覚まさないかもしれない。心はとがと罪のうちに死んでいる。あなたが確かな勝利を探しているときに、悔改めはなく、ただ無関心と反対のみで、ある人からは軽蔑さえあるかに見える。しかし、あなたは自分の努力をゆるめるべきではない。もし一人が拒んだなら、他の人に向かいなさい。慰め主が、あなたには不可能な働きをして下さるという信仰をもちなさい。キリストがあなたに与えて下さったすべての祝福された約束を信じる信仰をもちなさい。愛と不屈の勇気をもって働きなさい。なぜなら、あなたが成功したいなら、そうしなければならないからである。『わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる』（ガラテヤ 6:9）。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1891 年 11 月 30 日）

4. 永続的な愛

a. 愛という植物について、特別なことは何ですか（コリント第一 13:8（上句））。

「わたしたちは自分の人類同胞をキリストの血で買われたものとして見るべきである。もしこの愛を互いに持っているならば、神と真理への愛のうちに成長する。わたしたちは自分たちのただ中で、どれほどわずかな愛しかいだかれていないかを見て、心痛を覚える。愛は、天に由来する植物であり、もしそれがわたしたちの心の中で繁茂することを願うなら、日ごとに培わなければならない。温和、優しさ、寛容、いらだたないこと、すべてを忍び、すべてを耐えること―これらは愛という尊い木になる実である。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 5 日）

「カルバリーの光に照してみて、おのれを捨てる愛の法則が天と地の生命の法則であること、『自分の利益を求め』ない愛はそのみなもとが神の心にあること、柔和で心のへりくだったおかたのうちに、だれも近づくことのできない光のうちに住んでおられる神のご品性があらわれていることなどがわかるであろう（コリント第一 13:5）。」（各時代の希望上巻 2）

b. クリスチャンの管理者が、キリストの血によって買われた魂のために労するときに、何が励ましとなるべきですか（ガラテヤ 5:1）。

「〔来世の学校で〕無我の精神で働いてきた人々は、そこに自分たちのほねおりの結果を見るであろう。あらゆる正しい原則と尊い行為の成果が見られるであろう。その幾らかはこの世においても見られる。しかし世界の最もとうとい働きの結果は、この世においてはそれをなした本人にもほとんどわからないのである。おのれを忘れてたゆまずに働いた結果がどれほど彼らの手の届かない知らない人々に及んでいることであろう。……このように彼らは賜物を与え、重荷を負い、働きをなすのである。人は種をまくが、それは彼らが墓にはいってから祝福の収穫となって他の人に刈り取られるのである。彼らは木を植えるが、その実は他の人が食べるのである。彼らはこの世では、自分が良い働きを始めたことを心に思うだけで満足する。来世ではこうしたすべての働きとその結果が明らかにされるであろう。

無我の奉仕をするように神から与えられたあらゆる賜物について、天に記録がしるされている。多方面にわたるその記録を調べたり、われわれの努力によって高められ、とうとくされた人々について調べたり、それらの人々の経歴に真の原則の成果を見たりなど、こうしたことが天の学校の勉学と報賞の一つとなるであろう。」（教育 357, 358）

5.　　完全の絆

a.　クリスチャン品性を完成させるために、なぜ愛が必要なのですか（コロサイ 3:14; ヨハネ第一 4:7–12）。

「罪のために制限されてはいるものの、この地上の人生における最大の歓喜と最高の教育は奉仕の中にある。罪のある人間としての制限に拘束されない来世においても、奉仕の中に最大の歓喜と最高の教育が見いだされる。それはあかしをたてることであり、あかしをたてるとともに『この奥義が、いかに栄光に富んだものであるか 』を新しく学ぶのである。『この奥義は、あなたがたのうちにいますキリストであり、栄光の望みである』と言われている。（コロサイ 1:27）。」（教育 360）

b.　永遠にわたって輝く変わらない愛の最も偉大な実例は何ですか（ゼカリヤ 13:6）。

「われわれの救い主は、永遠に十字架の傷跡をとどめられるのである。主の傷ついたみ頭に、その脇腹に、その手と足に、罪の残酷なしわざの唯一の跡がある。預言者ハバククは栄光のキリストを見て、『その光は彼の手〔脇腹―英語訳〕からほとばしる。かしこにその力を隠す』と言っている（ハバクク書 3:4）。人類を神に和らがせる真紅の血潮がほとばしり出た、主の突き通された脇腹―そこに救い主の栄光があり、そこに主の力が隠れている。主は贖いの犠牲によって、『救いを施す力ある』おかたとなられたので、神のあわれみをあなどった者たちに対しては、強い態度でさばきを執行されたのである。救い主の屈辱のしるしこそは、救い主の最高の栄誉である。カルバリーの傷跡は永遠にわたって、主への賛美を示し、主の力を宣言する。」（各時代の大争闘下巻 462）

金曜日 9月16日

個人的な復習問題

1.　クリスチャンの管理者は、マタイ 7:12 をどのように理解すべきですか。
2.　愛は、困難のただ中にあっても、どのような結果を達成しますか。
3.　わたしたちはどのように試練から益を受けることができますか。
4.　なぜ愛の奉仕は、決して失われることがないのですか。
5.　人生の最大の喜びと最高の教育は、どこで見出されますか。

成し遂げられた使命！

暗唱聖句：「〔愛は〕不義を喜ばないで真理を喜ぶ。」（コリント人への第一の手紙 13:6）

「愛は罪人を愛するが、罪を憎み、罪人にその危険を忠実に警告し、世の罪を取り除く神の小羊を彼に指し示す。罪は覆いかくされるのではなく、取り除かれるべきである。」（原稿ﾘﾘｰｽ 1 巻 217）

推奨文献：　管理職への勧告 339–350

日曜日　*9 月 18 日*

1.　自己称揚

a.　わたしたちはただ神にあってのみ喜んでいると公言するかもしれませんが、クリスチャンの管理職は何を悟らなければなりませんか（箴言 28:14）。

「聖書の愛は、感情主義ではないが、活動する愛は働く。わが民の娘の傷をいやすために、手軽に、平安がないのに『平安、平安』と言うことが（エレミヤ 6:14; 8:11）、愛と呼ばれている。共謀すること、罪を、聖潔と真理だと呼ぶことが、愛だと呼ばれているが、これは偽物である。世にはいつわりや偽物があるので、わたしたちは自分たちが本物の愛をもっているかどうか、知るために、自分の心を厳密に吟味すべきである。本物の愛は、不信や悪い行いを生みださない。それは、御霊の剣をにぶくして、執行できないようにはしたりはしない。偽りの愛の下に悪を覆う人々は、罪人に『あなたは大丈夫ですよ』と言う。堕落していない愛があることを神に感謝する。上よりの知恵がある。それは（注目しなさい）、第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りがない。これは、天で生まれ論拠であり、天で育った愛である。」（原稿ﾘﾘｰｽ 1 巻 216, 217）

b.　クリスチャンの管理職の日々の経験を、何が特徴づけるべきですか（詩篇 139:23, 24）。

2. 不適当な喜び (I)

a. クリスチャンの管理者は、悪に対して、どのように応じるべきですか (コリント第一 13:6 (上旬))。

「サタンの働きは、神の働きに真っ向から反対している。あらゆる善の敵は、人間の魂を傷つけるために編成された武力の将軍として立っている。彼はキリストに従う者だと公言する人々が互にかみつき、むさぼっているのを見るとき、悪魔的な勝利をもって眺めている。彼は神に仕えようとしている人々の生涯を傷つけようと待ち構えている。天使たちは、人が自分の働きにおいて、心を落胆させることによって、神の民を弱く、力なく、信仰なくさせることによって、サタンの代理者たちを助けているのを見て、驚いている。」(ｽﾊﾟﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｱﾝﾄﾞ・ﾏｰｶﾞﾝ・ｺﾚｸｼｮﾝ 345, 346)

「もしわたしたちが勝利者になりたければ、自分の心を探って、神にとって不快なものを何一つ抱いていないことを確かめなければならない。」(ｾﾌﾞﾝｽﾃﾞｰ・ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ外国ﾐｯｼｮﾝのﾋﾘｽﾄﾘｶﾙ・ｽｹｯﾁ 138)

b. クリスチャンの管理者は、どのように不義を喜ぶことを避けますか (ペテロ第一 5:8, 9)。

「わたしたちが落胆や憂うつを語るとき、サタンは悪魔的な喜びをもって聞いている。なぜなら、あなたを自分のくびきにつないだことを知ることは、彼を喜ばせるからである。サタンはわたしたちの思想を読むことはできないが、わたしたちの行動を見、言葉を聞くことができる。そして彼は長く人類家族を知っているため、わたしたちの品性の弱点を利用するように自分の誘惑を適合させることができる。そしてなんとしばしば、わたしたちは、どのようにしてわたしたちに勝利できるかという秘密を彼に探らせてしまうことであろう。ああ、わたしたちが自分の言葉と行動を支配することができるなら！もしわたしたちの言葉が裁きの日にその記録に直面するのに恥ずかしくないような種類のものであれば、どれほどわたしたちは強くなることであろう。神の日にそれらの言葉は、わたしたちが口にしたときと、どれほど違って見えることであろう。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1891 年 5 月 19 日)

c. 上記に述べられた誘惑に対して、どの訓告がわたしたちを強めるべきですか (詩篇 141:3; エペソ 4:29, 30)。

「あなたがたが共に集まるとき、言葉を守りなさい。あなたの会話が、あとで悔い改めなくてもよいような性質のものになるようにしなさい。」(同上 1888 年 6 月 5 日)

3. 不適当な喜び (II)

a. クリスチャンの管理者は、他の人々の罪や弱さを喜ぶことに対して、どのように警告されていますか (エペソ 5:11, 12)。

「多くの人々が自分自身の魂をなおざりにしている一方で、他の人々を批判し、責める機会を熱心にうかがっている。だれでも品性の欠点がある。そして、嫉妬が自分の侮辱だと解釈できるような何かを見つけることは難しくない。『さて』と自分で決めた裁判官が言う、『わたしたちには証拠がある。彼らが自分の潔白を立証できない告発を、彼らにしっかりと結びつけようではないか』。彼らはふさわしい機会を待ち、それから自分たちの大量の噂話を作りだして、あちこちとふれまわるのである。…

真のクリスチャンは、他人の欠点や欠陥を暴いて勝ち誇るようなことはしない。彼らは、卑劣さや奇形から目をそらし、魅力的で美しいものに心を留めるのである。クリスチャンにとって、欠点を指摘する行為、批判や非難の言葉はすべて苦痛である。」(教会への証 5 巻 95, 96)

b. クリスチャンの管理者が、どのように不義を喜ぶことを抑制しなければならないか、例をいくつか挙げなさい (箴言 24:17, 18)。

「他人の欠点を探す代わりに、自分自身を厳しく批判しよう。わたしたちの一人びとりの問いは、わたしの心は神のみ前に正しいであろうか。この一連の行動は天にいますわたしの御父に栄光を帰すであろうか、であるべきである。もしあなたが悪い精神をいだいていたなら、魂から取り除かれるようにしなさい。あなたの心から、汚す性質のものはすべて根こそぎにすることは、あなたの義務である。苦々しさの根はすべて、他の人々をその有害な感化力によって汚すことがないように、抜き去られなければならない。一つの有毒な植物も、あなたの心の土壌に残しておいてはならない。たった今、それを根こそぎにし、その代わりに、愛の植物を植えなさい。イエスが魂に大事にされるようにしなさい。

キリストがわたしたちの模範であられる。このお方は良いことをするために巡回された。このお方は他の人々を祝福するために生きられた。愛がこのお方のすべての行動をうるわしくし、高尚にした。そして、わたしたちはこのお方のみ足の跡に従うようにと命じられている。神がご自分のひとり子をこの悲しみの世に遣わされたのは、『わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわざに熱心な選びの民を、ご自身のものとして聖別するためにほかならない』ことを覚えていよう (テトス 2:14)。神の要求に調和し、このお方の律法を果たすことを求めよう。『愛は律法を完成するものである』(ローマ 13:10)。そしてわたしたちが生きられるようにと死なれたお方は、ご自分がわたしたちを愛されたように互に愛せよ、との命令をわたしたちにお与えになった。そして世は、わたしたちがこの愛を互に持つならば、わたしたちがこのお方の弟子であることを知るのである。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 5 日)

4. わたしたちの兄弟姉妹と共に

a. 初期の弟子たちのどのような教えと経験がわたしたちのものになるべきですか（ヤコブ 5:16; ピリピ 2:1, 2）。

「わたしたちはしばしば祈るべきである。熱心な祈りに答えて神の御霊は注ぎだされる。…〔弟子たちは〕あれこれスキャンダルを話すために集まっていたのではなかった。彼らは兄弟の品性に見つけることのできるすべてのしみをあばこうとしていたのではなかった。彼らは自分たちの霊的な必要を感じ、自分自身の弱さを克服するときに助けて下さるように、そして、彼らが他の人々を救う働きのためにふさわしくなるため、聖油の注ぎを主に叫び求めた。彼らは激しい熱心さをもって自分たちの心に広くキリストの愛が降り注ぐように祈った。これが今日、わが国のすべての教会において大いに必要とされている。『だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである』からである（コリント第二 5:17）。品性において障害となっているものはイエスの愛によって、魂から清められる。すべての利己心は追い出される。すべての妬み、すべての悪口は根こそぎにされる。そして根本的な変化が心のうちになしとげられる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄ 1890 年 7 月 22 日）

b. クリスチャンの管理者は愛すると公言している人々とのふれあいの中で、どのような要素を心に留めていなければなりませんか（ローマ 14:19; テサロニケ第一 5:11）。

「平凡で安っぽい地上の事柄が、思いを奪って、イエスのご臨在が引き上げられるようなことがないようにしよう。教会の命はキリストから伝達される。そして命を与える力と調和して働き、自己を見失い、互を最も聖なる信仰のうちに築き上げようと努めるときに、わたしたちは教会を助けるのである。」（原稿ﾘﾘｰｽ 11 巻 265）

「今の時代に教会の繁栄にとって危険な、罪と罪人への同情がある。愛がなければならない、と叫ばれている。しかし、悪の言い訳をし、罪人をかくまうのは、聖書の愛ではない。悪人との友情は、彼らの憎しみよりも危険である。なぜなら、生ける神の僕に対しては、不従順へ誘惑することによってでないかぎり、だれひとり彼らに打ち勝つことはできないからである。

罪の不快な性質は、十字架の光に照らされて初めて評価することができる。神は非常に憐れみ深いので、律法を犯した者を罰することはできないと人々が主張するとき、カルバリーを見るようにしなさい。 キリストが不従順な者の罪を負い、罪人の代わりに苦しまれたからこそ、神のみ子に対する正義の剣が目覚めたのだということを認めさせるのである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1881 年 1 月 6 日）

木曜日　*9月22日*

5.　　正しい喜び

a.　クリスチャンの管理職は真の愛をどのように表しますか（コリント第一 13:6（後句）；詩篇 119:140–144, 172）。

『愛がなければならない』は、どこででも聞かれる叫びである。特に、きよめられたと言っている人たちから聞かれる。しかし、真の愛は純粋であって、告白されていない罪をおおい隠すことはできない。キリストが身代わりとなられた魂を愛しているかぎり、悪と妥協しないようにしなければならない。われわれは反逆者と手を結んで、これを愛と呼ぶべきではない。」（患難から栄光へ下巻 258）

b.　クリスチャンの管理者の最終の目標は何ですか（コリント第一 2:2）。

「永遠の年月が経過するにつれて、神とキリストについてますます豊かでますます輝かしい啓示がもたらされる。知識が進歩していくように、愛と尊敬と幸福も増していく。人々は神について学べば学ぶほど、ますます神のご品性に感嘆するようになる。イエスが彼らの前に、贖いの富と、サタンとの大争闘における驚くべき功績とをお示しになると、贖われた者たちの心はいっそう熱烈な献身の念に燃え立ち、いよいよ喜びに満たされて黄金の立琴をかき鳴らし、万の幾万倍、千の幾千倍の声が一つになり、賛美の一大コーラスとなって盛りあがる。…

最も微細な原子から最大の世界に至るまで、万物は、生物も無生物も、かげりのない美しさと完全な喜びをもって、神は愛であると告げる。」（各時代の大争闘下巻 467）

金曜日　*9月23日*

個人的な復習問題

1. **忠実な管理職の発展において、なぜ自己吟味が鍵となるのですか。**
2. **クリスチャンの管理者が、キリストを喜ばせる代わりに、敵を喜ばせる傾向があるのは、いつですか。**
3. **クリスチャンの管理者は、どのようにひそかに不義を喜ぶ危険性がありますか。**
4. **偽りの愛の症状は何ですか。**
5. **クリスチャンの管理者は、どのように真の愛を表すことができますか。**

第一安息日献金

7月2日

アメリカ合衆国ケンタッキー州ウィンチェスターのために

(4 ページ参照)

8月6日

世界総会教育支部のために

(30 ページ参照)

9月3日

セントルシアの礼拝堂と本部のために

(51 ページ参照)